



平成28年度

国立大学法人 弘前大学概要

2016 HIROSAKI UNIVERSITY





弘前大学長
佐藤 敬

世界に発信し、 地域と共に創造する 弘前大学

理念

弘前大学は、教育基本法の精神にのっとり、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、人類文化に貢献しうる教養識見を備えた人格者の育成をもって目的とする。

基本方針 弘前大学将来ビジョン

弘前大学は北東北地域の総合大学の一つとして、地域活性化の中核的拠点の役割を追究していくことを基本とする。第2期中期目標・中期計画期間においては、再生可能エネルギー、環境、被ばく医療、食の4テーマを大学としての重点分野に位置付け、教育研究と地域連携を実施してきたが、第3期中期目標・中期計画期間においては、これらを含むさまざまな成果の社会還元としてのイノベーション創出と人材育成を通して、地域貢献のさらなる推進を目指すものとする。

また、大学改革にあつては、イノベーションに貢献する理工学系・農学系人材の育成の強化や、小学校教員を中心とした教員養成の質的充実、大学院における教育・研究の充実などが教育・研究組織再編の柱に位置付けられているが、加えて、従来の4重点分野に関する研究実施体制や課題の見直しを図ることは必然と考えられ、また、第3期中期目標・中期計画期間中においても、不断の改革が進められなければならない。大学のガバナンスに関しても、学内における広い議論の集約の下に、自主的な改革を果たしてきたが、その在り方について引き続き検証し、見直すことで、国立大学法人本来の管理運営の下に改革と機能強化を推進していくことが求められる。

これらの取組を通して、弘前大学のスローガンである“世界に発信し、地域と共に創造する”大学の姿をさらに明確にしていくことが本来の使命である。

教育・研究組織

上述の教育・研究組織の再編を完遂することによって、グローバル化の進展、イノベーション創出の必要性、少子高齢化などを背景とした我が国社会の時代的要請に応じていく。また、科学・技術の進歩に伴って、高等教育の軸足は必然的に大学院教育へとシフトしていることをふまえ、学士課程教育との連続性を意識しながら、教育・研究組織の在り方を見直ししていく。

教育改革

地域活性化の中核的拠点として、地域のリーダーの輩出が弘前大学の大きな役割であり、グローバルな視点を持って地域課題の解決に取り組む人材がますます重要になりつつあるが、そのためには、教育の目標としては、真のグローバル人材の育成を目指すことが求められる。また、専門的知識や技術を活かすためには、その基盤となる学識・教養を醸成し、調和した人格を形成する教養教育の役割はきわめて大きなものがある。教育革命においては、これらの視点に基づいて、教育の基盤整備に力を入れていくことが必要であり、入学者選抜方法の改善、成績評価の厳格化、アクティブ・ラーニングの強化、学生自身による学びのデザインの推進、学生支援体制の強化などを進める。

研究推進

国際的レベルの研究、発展が期待される基礎的研究及び地域の活性化に寄与する研究の推進を図ることを基本とする。その中で、若手研究者の支援、競争的研究資金の獲得、知的財産の創出と活用、国際的研究交流の推進などの視点に基づいて研究を推進していく。

また、研究分野としては、再生可能エネルギーや被ばく医療を含めた環境全般と食を本学の重要なテーマに位置付け、研究の推進を図る。

地域連携・地域貢献

地域活性化の中核的拠点としての機能の充実を図り、地域の自治体や企業、市民活動団体等との連携を引き続き強化する。特に教育に関しては、アクティブ・ラーニングなどに地域課題への取組を取り入れるとともに、研究においては、地域との共同研究等を通してイノベーション創出への貢献を果たす。さらに、地域の高等教育機関との連携強化によっても、教育・研究活動を通じた地域貢献を強化していく。

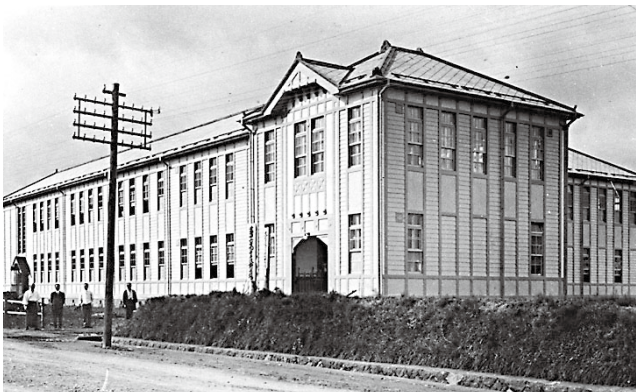
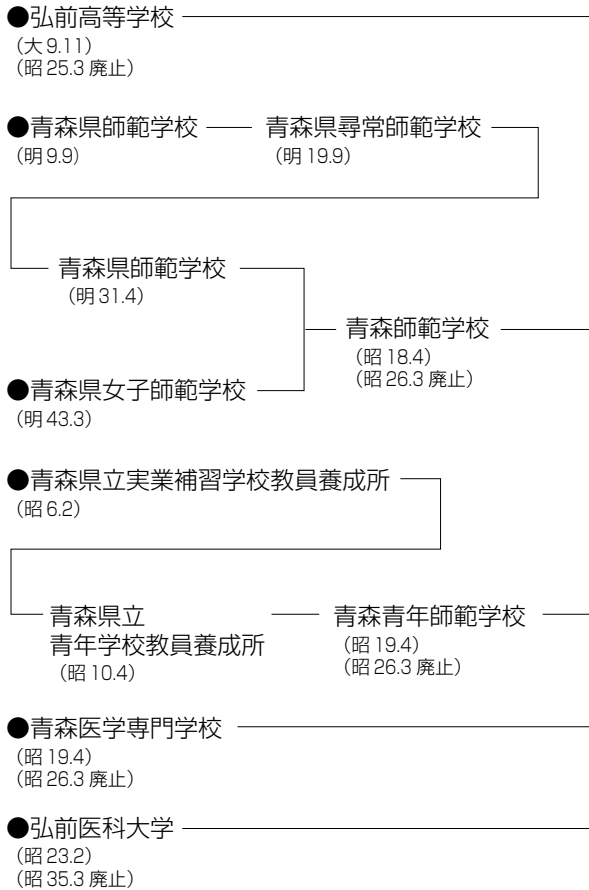
グローバル化

学術の国際交流の活性化はもとより、グローバル人材の育成は我が国全体の重要な課題となっており、弘前大学においてもグローバル化をさらに加速することが必要である。教育・研究の強化に加え、キャンパスの国際化の推進や本学学生の海外経験を支援することにより、国際化と多様性を一層強めていく。

管理運営

学長のリーダーシップによる全学的な合意形成を重視し、弘前大学の課題解決と目標達成を果たしていく。特に、国立大学法人を取り巻く現況の中にあつて、構成員の共通認識の醸成の下に、全学一体となって弘前大学が発展を果たしていくため、管理運営の不断の見直しを続ける。

弘前大学の理念・目標	1
目次	2
沿革	3
組織図	5
事務機構図	6
歴代学長	7
役職員	8
教育研究院	11
学部	12
大学院	14
附置研究所	17
附属図書館	18
附属病院	19
学内共同教育研究施設	21
機構	23
特定プロジェクト教育研究センター	25
役員数	26
入学者の状況・入学者の出身地・編入学	27
学生・生徒数	28
卒業生・修了者数	30
平成27年度卒業者の就職状況	31
学位(博士・修士)授与数／研究報告	32
日本学生支援機構奨学生数	33
国際交流協定締結大学	34
外国人留学生数	35
海外拠点／国際連携本部	36
平成28年度収入と支出／科学研究費補助金申請・採択状況	37
外部資金受入状況	38
部局等所在地	39
土地・建物	40
建物配置図	41
福利厚生施設等	45
サテライト／地域連携協定	46
部局等位置図(弘前市)	47
施設等位置図(青森県)	48



旧制弘前高等学校



青森師範学校

弘前大学

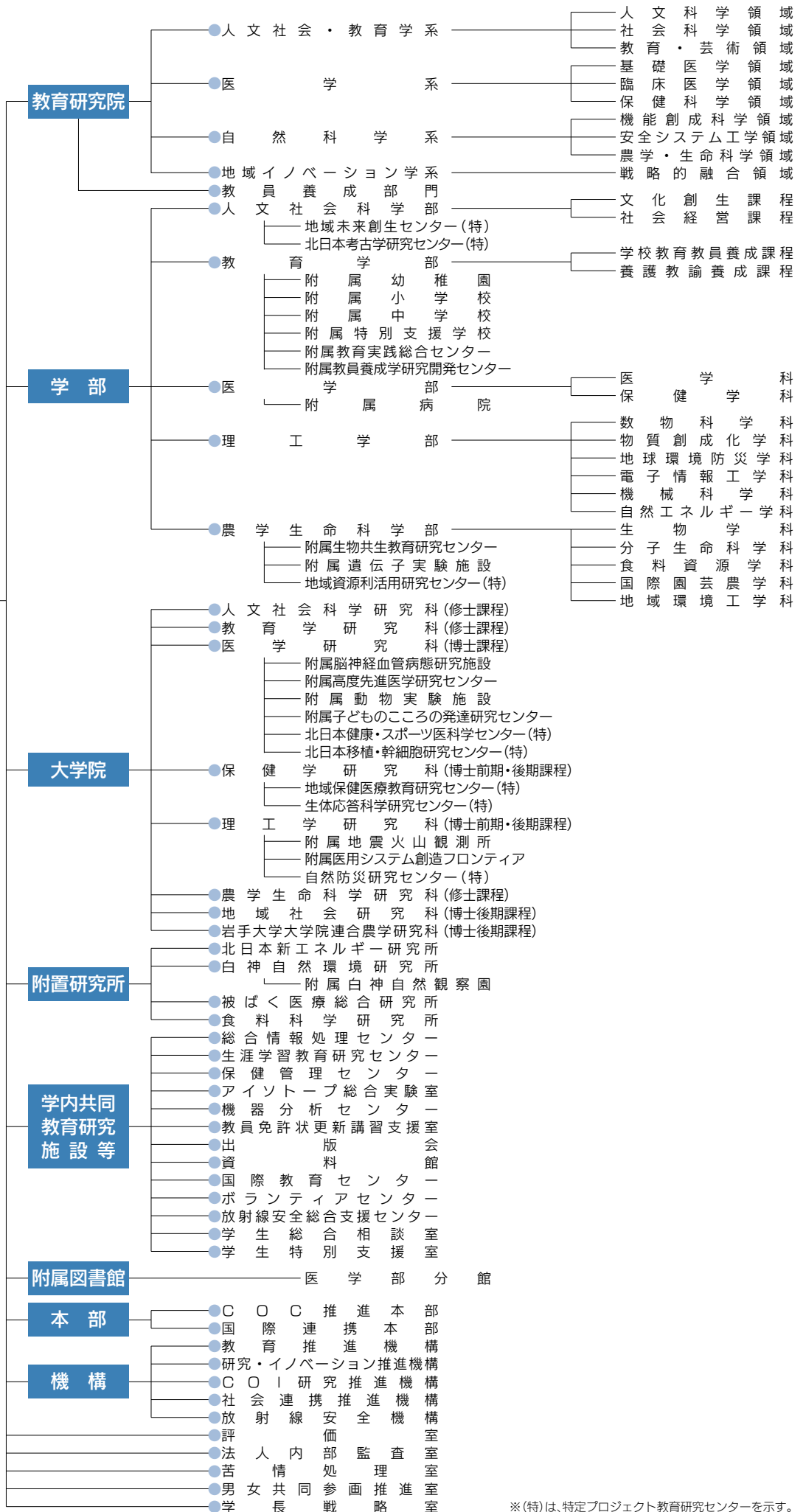
- 昭24. 5. 31 ●弘前大学設置
 - 文理学部・教育学部・医学部・野辺地分校
- 昭26. 4. 1 ●文理学部に農学科設置(昭30.3.31廃止)
- 昭30. 4. 1 ●医学部附属看護学校設置(昭52.3.31廃止)
- 昭30. 7. 1 ●医学部医学進学課程設置
- 農学部設置
 - 農学科(昭38.4.1廃止)
- 昭31. 4. 1 ●農学部附属農場設置
- 昭32. 4. 1 ●医学部附属助産婦学校設置 (昭50.4.21廃止)
- 昭33. 4. 1 ●大学院医学研究科(博士課程)設置
- 昭35. 3. 31 ●教育学部野辺地分校廃止
- 昭35. 4. 1 ●農学専攻科設置(昭46.3.31廃止)
- 昭38. 4. 1 ●農学部に園芸化学科・園芸農学科設置
- 昭40. 4. 1 ●文理学部改組により人文学部(文学科・経済学科)、理学部(数学科・物理学科・化学科・生物学科)及び教養部設置
 - 教育学部に養護学校教員養成課程設置
 - 医学部附属脳卒中研究施設設置
- 昭41. 4. 1 ●教育専攻科設置(平6.3.31廃止)
- 養護教諭養成所設置(昭55.3.31廃止)
- 農学部に農業工学科設置
- 昭42. 4. 1 ●医学部附属衛生検査技師学校設置 (昭47.4.1医学部附属臨床検査技師学校と改称、昭53.3.31廃止)
- 昭42. 6. 1 ●保健管理センター設置
- 昭43. 4. 1 ●教育学部に特別教科(看護)教員養成課程設置
- 昭44. 4. 1 ●理学専攻科設置(昭53.3.31廃止)
- 農学部園芸農学科を農学科と改称
- 農学部に園芸学科設置
- 医学部附属診療放射線技師学校設置 (昭54.3.31廃止)
- 昭46. 4. 1 ●大学院農学研究科(修士課程)設置
- 昭47. 4. 1 ●人文学専攻科設置(平11.3.31廃止)
- 昭48. 4. 1 ●教育学部に幼稚園教員養成課程設置
- 昭49. 4. 1 ●教育学部附属養護学校設置
- 昭50. 4. 22 ●医療技術短期大学部設置(看護科・専攻科助産学特別専攻)
- 昭51. 4. 1 ●理学部に地球科学科設置
- 医療技術短期大学部に衛生技術学科設置
- 医療技術短期大学部看護科を看護学科と改称
- 昭52. 4. 1 ●大学院理学研究科(修士課程)設置
- 医療技術短期大学部に診療放射線技術学科設置
- 昭53. 4. 1 ●教育学部に養護教諭養成課程設置
- 昭54. 4. 1 ●医学部附属動物実験施設設置
- 昭55. 4. 1 ●人文学部文科学科を人文学科と改称
- 医療技術短期大学部に理学療法学科・作業療法学科設置
- 昭56. 4. 1 ●理学部附属地震火山観測所設置
- 昭60.11.12 ●情報処理センター設置(平6.6.23廃止)
- 昭62. 4. 1 ●理学部に情報科学科設置
- 昭63. 4. 8 ●教育学部附属教育実践研究指導センター設置
- 平成元. 4. 1 ●大学院人文科学研究科(修士課程)設置
- 平成元. 5. 29 ●医学部附属脳卒中研究施設改組により医学部附属脳神経疾患研究施設設置

- 平成 2. 4. 1 ●農学部学科改組により生物資源科学科・農業生産科学科・農業システム工学科設置
- 岩手大学、弘前大学、山形大学で構成する岩手大学大学院連合農学研究科(博士課程)に参加
- 平成 5. 4. 1 ●遺伝子実験施設設置
- 平成 6. 4. 1 ●大学院教育学研究科(修士課程)設置
- 平成 6. 6.24 ●総合情報処理センター設置
- 平成 8. 5.11 ●生涯学習教育研究センター設置
- 平成 9. 4. 1 ●地域共同研究センター設置
- 平成 9. 9.30 ●教養部廃止
- 平成 9.10. 1 ●理学部、農学部改組により理工学部、農学生命科学部設置
- 平成 10. 4. 1 ●人文学部学科改組により人間文化課程・情報マネジメント課程・社会システム課程設置
- 平成 11. 4. 1 ●大学院人文科学研究科改組により大学院人文社会科学部研究科(修士課程)設置
- 医学部附属脳神経疾患研究施設改組により医学部附属脳神経血管病態研究施設設置
- 平成 11.10. 1 ●アイソトープ総合実験室設置
- 平成 12. 4. 1 ●教育学部改組により学校教育教員養成課程・養護教諭養成課程・特別教科(看護)教員養成課程・生涯教育課程を設置
- 農学生命科学部附属農場改組により農学生命科学部附属生物共生教育研究センター設置
- 平成 12.10. 1 ●教育学部特別教科(看護)教員養成課程及び医療技術短期大学部の改組により医学部保健学科を設置
- 平成 13. 4. 1 ●教育学部附属教育実践研究指導センターの改組により教育学部附属教育実践総合センターを設置
- 平成 13.10. 1 ●21世紀教育センター設置
- 平成 14. 4. 1 ●大学院理学研究科改組により大学院理工学研究科(修士課程)設置
- 大学院農学研究科改組により大学院農学生命科学研究科(修士課程)設置
- 大学院地域社会研究科(博士課程)設置
- 平成 15. 4. 1 ●留学生センター設置
- 平成 15. 9. 9 ●機器分析センター設置
- 平成 15.10. 1 ●教育学部附属教員養成学研究開発センター設置
- 平成 16. 4. 1 ●**国立大学法人弘前大学設立**
- 弘前大学設置**
- 大学院理工学研究科(博士課程)設置
- 出版会設置
- 平成 16. 6.28 ●大学院医学系研究科保健学専攻(修士課程)を設置し、医学研究科を医学系研究科と改称
- 人文学部情報マネジメント課程を現代社会課程に、社会システム課程を経営経営課程と改称
- 医学部附属高度先進医学研究センター設置
- 平成 18. 4. 1 ●理工学部学科改組により数理科学科・物理科学科・物質創成化学科・地球環境学科・電子情報工学科・知能機械工学科を設置
- 平成 19. 4. 1 ●大学院医学系研究科(修士、博士課程)を医学研究科(博士課程)と改称
- 大学院保健学研究科(博士課程)を設置
- 教育学部附属養護学校を附属特別支援学校と改称
- 留学生センターを国際交流センターに改組
- 平成 20. 4. 1 ●農学生命科学部学科改組により生物学科・分子生命科学科・生物資源学科・園芸農学科・地域環境工学科を設置
- 平成 20.10. 1 ●教員免許状更新講習支援室設置
- 平成 21. 3.23 ●北日本新エネルギー研究センター設置
- 青森キャンパス設置
- 平成 21. 4. 1 ●白神自然観察園設置
- 平成 21.10. 1 ●男女共同参画推進室設置

- 平成 22. 3.23 ●被ばく医療教育研究施設設置
- 平成 22. 4. 1 ●理工学研究科(博士前期課程)改組により理工学専攻を設置
- 平成 22.10. 1 ●北日本新エネルギー研究センター、白神自然観察園及び被ばく医療教育研究施設を改組し、北日本新エネルギー研究所、白神自然環境研究所及び被ばく医療総合研究所を設置
- 平成 23. 4. 1 ●遺伝子実験施設を農学生命科学部教育研究附属施設に移管
- 平成 24. 4. 1 ●農学生命科学研究科(修士課程)改組により農学生命科学専攻を設置
- 平成 24.10. 1 ●資料館設置
- 平成 25. 3.25 ●食料科学研究所設置
- 平成 25. 4. 1 ●国際交流センターを廃止し、国際教育センター設置
- 平成 26. 4. 1 ●医学研究科附属子どものこころの発達研究センター設置
- 理工学研究科附属医用システム創造フロンティア設置
- 学長室設置
- 平成 26.11.21 ●社会連携推進機構設置
- 平成 27.10. 1 ●教育研究院設置
- 教育推進機構を再編し、機構内に教養教育開発実践センター、アドミッションセンター及び学生就職支援センターを設置
- 研究イノベーション推進機構再編に伴い、地域共同研究センター及び知的財産本部を廃止
- 平成 27.10.16 ●放射線安全総合支援センターを設置
- 平成 28. 3.31 ●21世紀教育センターを廃止
- 平成 28. 4. 1 ●教育推進機構学生就職支援センターをキャリアセンターへ改組
- 人文学部を人文社会科学部へ改組し、文化創生課程及び社会経営課程を設置
- 理工学部の学科を数物科学科、物質創成化学科、地球環境防災学科、電子情報工学科、機械科学科及び自然エネルギー学科と改組
- 農学生命科学部の学科を生物学科、分子生命科学科、食料資源学科、国際園芸農学科及び地域環境工学科と改組
- 教育学部の課程を学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程と改組
- 学生特別支援室設置

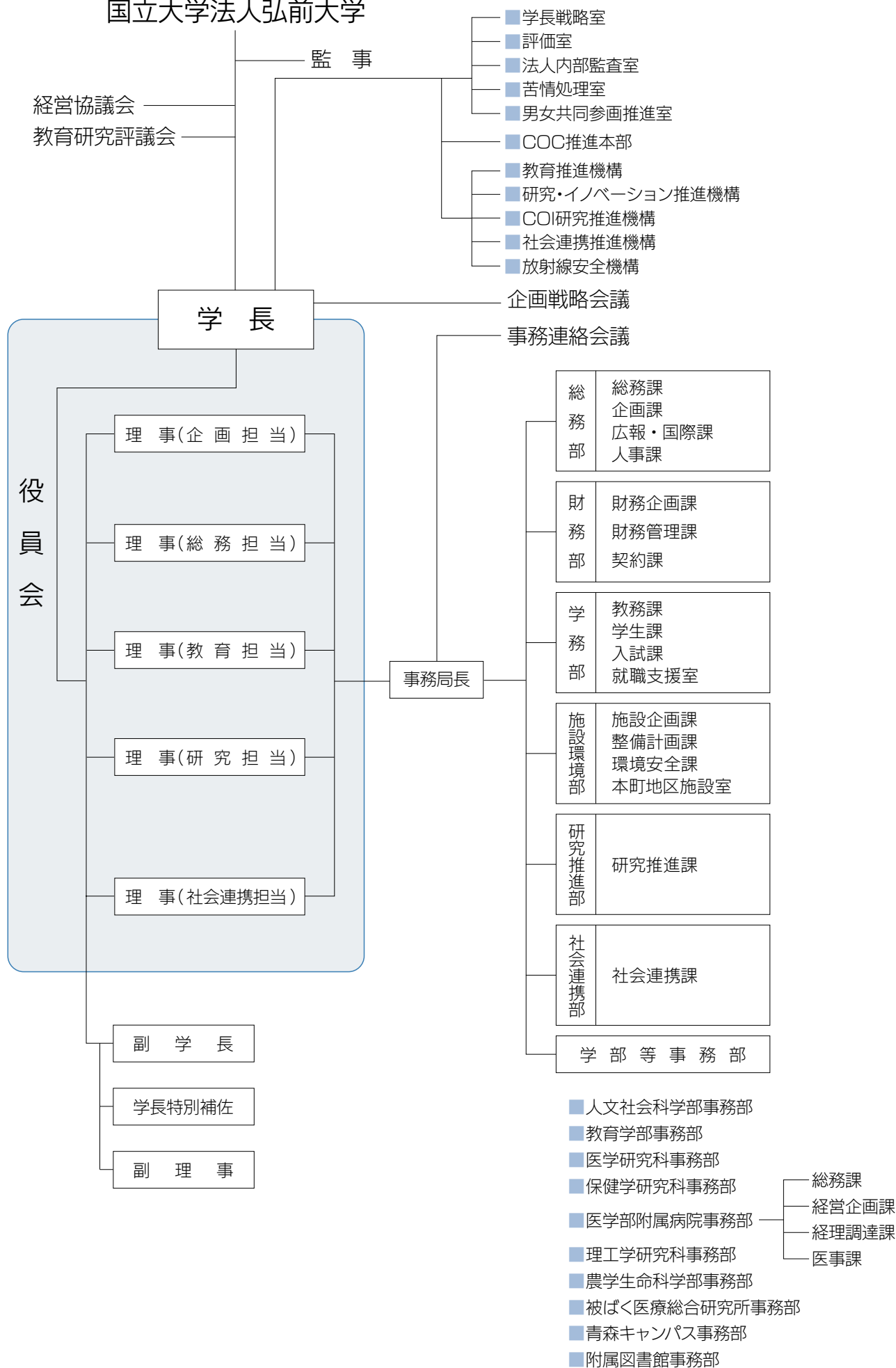


弘前大学



※(特)は、特定プロジェクト教育研究センターを示す。

国立大学法人弘前大学





医学博士／理学博士	丸井清泰	昭24. 5.31 – 28. 8.19
事務取扱	富野壮子路	昭28. 8.19 – 29. 1.31
理学博士	郡場寛	昭29. 2. 1 – 32.12.15
事務取扱	富野壮子路	昭32.12.15 – 33. 1.31
理学博士	野村七録	昭33. 2. 1 – 37. 1.31
医学博士	佐藤熙	昭37. 2. 1 – 43. 1.31
経済学博士	柳川昇	昭43. 2. 1 – 47. 1.31
医学博士	白渊勇	昭47. 2. 1 – 53. 1.31
医学博士	大池弥三郎	昭53. 2. 1 – 57. 1.31
教育学博士	牧野吉五郎	昭57. 2. 1 – 61. 1.31
医学博士	東野修治	昭61. 2. 1 – 平4. 1.31
理学博士	手代木涉	平 4. 2. 1 – 8. 1.31
医学博士	吉田豊	平 8. 2. 1 – 14. 1.31
医学博士	遠藤正彦	平14. 2. 1 – 24. 1.31
医学博士	佐藤敬	平24. 2. 1 –

役員等

■学長	佐藤 敬
■理事(企画担当)・副学長	吉澤 篤
■理事(総務担当)・副学長・事務局長	加藤 健
■理事(教育担当)・副学長	伊藤 成治
■理事(研究担当)・副学長	郡 千寿子
■理事(社会連携担当)・副学長	大河原 隆
■監事	山内 浩
■監事	澁谷 尚子
■副学長	柏倉 幾郎
■副学長	作花 文雄
■学長特別補佐	井口 泰孝
■学長特別補佐	神本 正行
■学長特別補佐	堀内 元博
■学長特別補佐	中根 明夫
■学長特別補佐	日景 弥生
■学長特別補佐	福田 眞作
■学長特別補佐	藤岡 正昭
■副理事	羽田 隆吉
■副理事	曾我 亨
■副理事	小山 宏
■副理事	村下 公一

学長選考会議委員

■経営協議会委員	岡井 眞
■経営協議会委員	櫛引 利貞
■経営協議会委員	熊地 貴志
■経営協議会委員	永澤 弘夫
■経営協議会委員	米田 洋次
■教育研究評議会評議員	今井 正浩
■教育研究評議会評議員	橋本 勝
■教育研究評議会評議員	若林 孝一
■教育研究評議会評議員	加藤 博雄
■教育研究評議会評議員	北原 啓司
■理事(企画担当)・副学長	吉澤 篤
■理事(総務担当)・副学長・事務局長	加藤 健

経営協議会委員

■学長	佐藤 敬
■理事(企画担当)・副学長	吉澤 篤
■理事(総務担当)・副学長・事務局長	加藤 健
■理事(教育担当)・副学長	伊藤 成治
■理事(研究担当)・副学長	郡 千寿子
■理事(社会連携担当)・副学長	大河原 隆

■学長特別補佐(医学部附属病院長)	福田 眞作
■大学院保健学研究科教授	齋藤 陽子
■青森県副知事	青山 祐治
■岡井公認会計士事務所所長	岡井 眞
■国立公文書館長	加藤 丈夫
■カネショウ(株)代表取締役社長	櫛引 利貞
■(株)みちのく銀行取締役兼専務執行役員	熊地 貴志
■NPO法人ぷらっと下北代表	島 康子
■弘前商工会議所会頭	永澤 弘夫
■(株)東奥日報社弘前支社長	米田 洋次
■(株)ファーストインターナショナル取締役GM	吉田 悦子

教育研究評議会評議員

■学長	佐藤 敬
■理事(企画担当)・副学長	吉澤 篤
■理事(総務担当)・副学長・事務局長	加藤 健
■理事(教育担当)・副学長	伊藤 成治
■理事(研究担当)・副学長	郡 千寿子
■理事(社会連携担当)・副学長	大河原 隆
■副学長	柏倉 幾郎
■副学長	作花 文雄
■人文社会科学部長	今井 正浩
■教育学部長	戸塚 学
■農学生命科学部長	橋本 勝
■大学院医学研究科長	若林 孝一
■大学院保健学研究科長	木田 和幸
■大学院理工学研究科長	加藤 博雄
■医学部附属病院長	福田 眞作
■人文社会・教育学系長	今井 正浩
■医学系長	若林 孝一
■自然科学系長	橋本 勝
■地域イノベーション学系長	北原 啓司
■大学院地域社会研究科長	北原 啓司
■北日本新エネルギー研究所長	村岡 洋文
■白神自然環境研究所長	檜垣 大助
■被ばく医療総合研究所長	山田 正俊
■食料科学研究所長	嵯峨 直恆
■附属図書館長	中根 明夫

評価室

■室長	吉澤 篤
-----	------

法人内部監査室

■室長 稲村 隆夫

苦情処理室

■農学生命科学部教授 鈴木 裕之
 ■大学院地域社会研究科長 北原 啓司
 ■大学院医学研究科長 若林 孝一
 ■医学部附属病院経営企画課長 太田 修造
 ■総務部人事課課長補佐 三上 伸悦

男女共同参画推進室

■室長 日景 弥生

人文社会科学部

■学部長 今井 正浩

教育学部

■学部長 戸塚 学
 ■附属教育実践総合センター長 大高明 史
 ■附属教員養成学研究開発センター長 中野 博之
 ■附属幼稚園長 小玉 正志
 ■附属小学校長 田中 完
 ■附属中学校長 清水 紀人
 ■附属特別支援学校長 岩井 康頼

大学院医学研究科

■研究科長 若林 孝一
 ■附属脳神経血管病態研究施設長 東海林 幹夫
 ■附属高度先進医学研究センター長 伊東 健
 ■附属動物実験施設長 上野 伸哉
 ■附属子どものこころの発達研究センター長 中村 和彦

大学院保健学研究科

■研究科長 木田 和幸

医学部附属病院

■病院長 福田 眞作

大学院理工学研究科

■研究科長 加藤 博雄
 ■附属地震火山観測所長 小菅 正裕
 ■附属医用システム創造フロンティアセンター長 笹川 和彦

農学生命科学部

■学部長 橋本 勝
 ■附属生物共生教育研究センター長 松崎 正敏
 ■附属遺伝子実験施設長 姫野 俵太

大学院地域社会研究科

■研究科長 北原 啓司

附置研究所

■北日本新エネルギー研究所長 村岡 洋文
 ■白神自然環境研究所長 檜垣 大助
 ■被ばく医療総合研究所長 山田 正俊
 ■食料科学研究所長 嵯峨 直恆

学内共同教育研究施設等

■総合情報処理センター長 葛西 真寿
 ■生涯学習教育研究センター長 曾我 亨
 ■保健管理センター所長 高梨 信吾
 ■アイソトープ総合実験室長 床次 眞司
 ■機器分析センター長 岡崎 雅明
 ■教員免許状更新講習支援室長 杉原 かおり
 ■出版会編集長 足達 薫
 ■資料館長 須藤 弘敏
 ■国際教育センター長 伊藤 成治
 ■COC推進本部長 佐藤 敬
 ■ボランティアセンター長 大河原 隆篤
 ■国際連携本部長 吉澤 篤

附属図書館・医学部分館

■館長 中根 明夫
 ■医学部分館長 藏田 潔

教育研究院

■人文社会・教育学系長 今井 正浩
 ■医学系長 若林 孝一
 ■自然科学系長 橋本 勝
 ■地域イノベーション学系長 北原 啓司

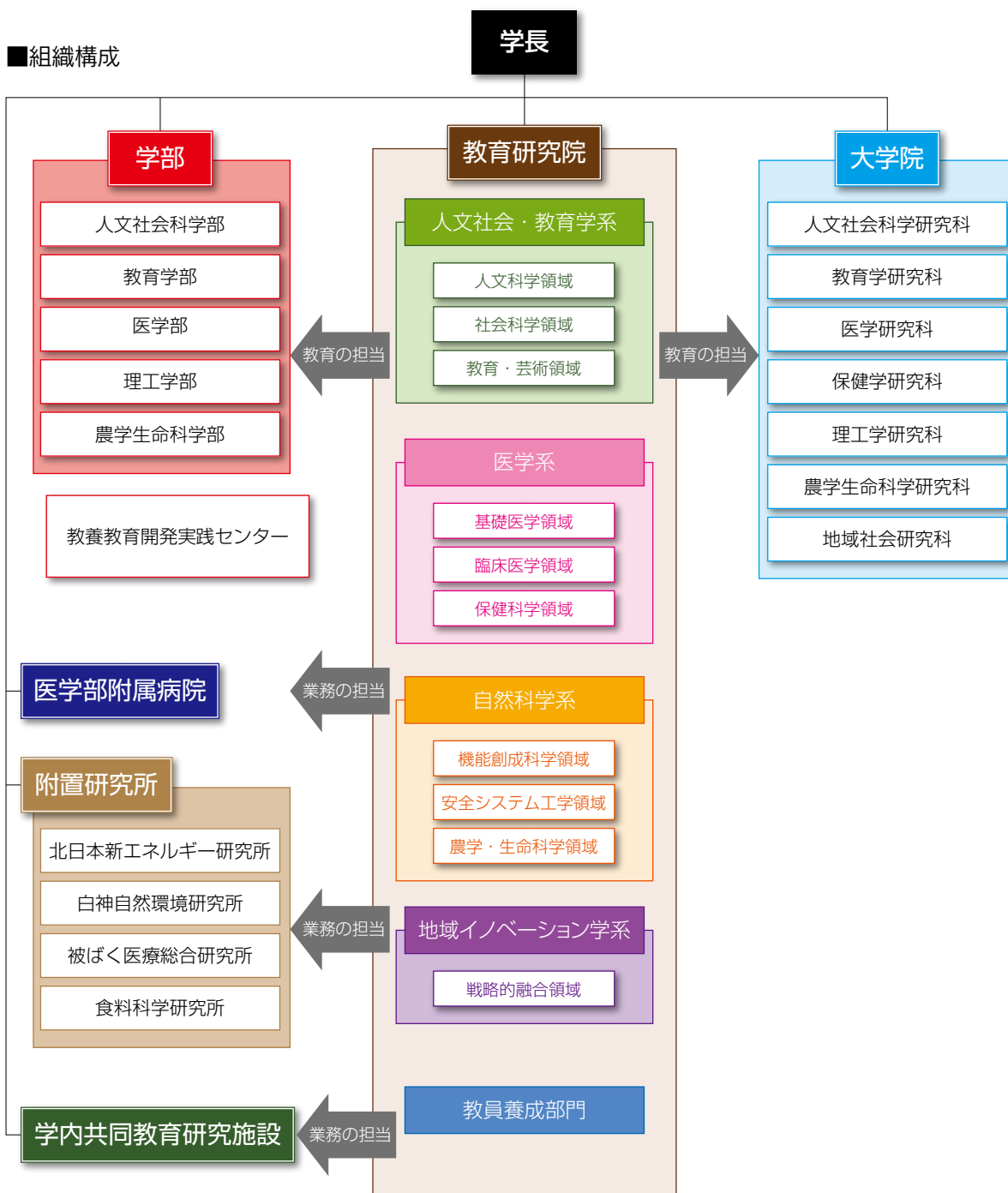
事務組織

■学長戦略室企画調整役	齊藤 明久
■参事役(COC担当)	金澤 哲哉
■総務部長	石山 俊光
■総務部総務課長	堀内 昭彦
■総務部企画課長	浅利 清一
■総務部広報・国際課長	中村 勝之
■総務部人事課長	藤本 修一
■財務部長	久保田 学
■財務部財務企画課長	村市 悟
■財務部財務管理課長	庄司 聡
■財務部契約課長	中野 公雄
■学務部長	金澤 哲哉
■学務部教務課長	石川 真理
■学務部学生課長	土井 正人
■学務部入試課長	土門 貞三
■学務部就職支援室長	佐々木 宣子
■施設環境部長	高橋 勝治
■施設環境部施設企画課長	橘 紀博
■施設環境部整備計画課長	田牧 貴教
■施設環境部環境安全課長	大平 隆人
■研究推進部長	亀谷 禎清
■研究推進部研究推進課長	古舘 賢樹
■社会連携部長事務取扱	小山 宏
■社会連携部社会連携課長	小田桐 努
■附属図書館事務長	工藤 弘文
■人文社会科学部事務長	松岡 昌江
■教育学部事務長	石戸谷 昌実
■農学生命科学部事務長	長谷川 直生
■医学研究科事務長	長澤 淳
■保健学研究科事務長	三上 豊
■理工学研究科事務長	齋藤 伸雄
■青森キャンパス事務長	山田 修平
■医学部附属病院事務部長	川村 金蔵
■医学部附属病院総務課長	三浦 信義
■医学部附属病院経営企画課長	太田 修造
■医学部附属病院経理調達課長	渡辺 弥
■医学部附属病院医事課長	成田 昭夫



教育研究院

学部、研究科等における教育の高度化と研究の発展を図るため、全学一体として機能発揮できる体制の構築を目的に、教育研究組織から分離した教員組織として「教育研究院」を設置しています。



○教育研究院には、基本的学問分野として「学系」を置き、学系の下に学問領域に対応した「領域」を置く。

○学問領域に加え、本学の特色であるエネルギー、環境、健康、食、地域資源等を活用した地域発展志向の「地域イノベーション学系」を置く。

○教員養成を担当する教員により組織される「教員養成部門」を置く。

○各学系に、学系会議を置き、学系の各領域に領域会議を置く。

○本学の教育、研究、社会貢献、診療、管理運営等を円滑に実施するため、全学的な視点から一元的な教員人事を行う。



人文社会科学部

時代の変化に対応できる専門知識・技能と課題解決能力の習得を目指して

人文社会科学部は北東北地域における人文社会科学分野の主要教育拠点の一つです。本学部では、少子高齢化の急速な進行、世界規模でのグローバル化の進展等によって、日本社会が大きな変化を迫られている状況の中で、確かな価値観と行動原理に裏づけられた、人文社会科学分野の専門知識・技能と現実の課題の解決能力をそなえた人材の育成を目指します。

課 程	講 座
文化創生課程 社会経営課程	文化資源学コース 多文化共生コース 経済法律コース 企業戦略コース 地域行動コース



教育学部

教員・教育者育成への新たな挑戦

教育学部は、学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程から構成されており、優秀な教育者並びに職業人の養成を目標に、人文・社会・自然等の諸科学、芸術、体育並びに教育科学に関する教育研究が行われています。そして、その実証的研究や学生の実習を行うため、本学部には、教育実践総合センター、教員養成学研究開発センター、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校が附属して設置されています。

課 程	講 座
学校教育教員養成課程 養護教諭養成課程 生涯教育課程*	国語教育 社会科教育 数学教育 理科教育 音楽教育 美術教育 保健体育 技術教育 家政教育 英語教育 教育保健 学校教育

*教育学部再編により平成28年度から生涯教育課程の学生募集を停止しました。



医学部(医学科)

医学部医学科では、以下のような「理念・目的」を定めています。

- 1 人間の尊厳を希求し、医学の発展の一翼を担います。
- 2 豊かな人間性と高度の医学知識に富み、求められる社会的役割を的確に果たすことができ、広い視野と柔軟な思考力をもつ医師、医学研究者を養成します。
- 3 それぞれの専門性を生かした国際水準の基礎的、応用的な医学研究を推進します。
- 4 高度で先端的な医療を地域社会と連携しつつ実践します。

学 科	講 座
医学科	※講座は大学院医学研究科に所属。



医学部(保健学科)

高度な医療技術と豊かな人間性を持った医療従事者の育成

医学部保健学科は、5専攻を有し、多様な医療専門職を養成する機関です。教育学部特別教科(看護)教員養成課程と医療技術短期大学部を前身とし、医療専門職教育における長い歴史と実績を有しています。校舎は本町キャンパスに位置し、約800人の学生が所属しています。弘前大学医学部保健学科の使命は、保健学における適切で高度な専門教育を提供し、健康の質を改善すると共に、国民の健康と福祉の増進に寄与することです。

学 科	専 攻		
保健学科	看護学専攻 理学療法学専攻	放射線技術科学専攻 作業療法学専攻	検査技術科学専攻



理工学部

地球の豊かな未来をつくるサイエンス&テクノロジー

理工学部では、きめ細かな教育を通して、21世紀の高度情報化社会及び先端技術社会を担う、個性豊かで独創性に富む人材の育成を目指しています。教育カリキュラムは、激しく変化する社会に対応できる幅広い視野と、理工学分野に不可欠な基礎力を同時に習得できるように工夫されています。また、地域社会と連携した研究活動にも力を入れています。

学 科	キーワード			
数物科学科	代数学	幾何学	解析学	応用数学
物質創成化学科	固体物理学	表面・界面物理学	ナノサイエンス	宇宙論／宇宙線物理学
地球環境防災学科	物理化学 有機化学	無機／分析化学	機能物質化学	生体関連化学
電子情報工学科	外圏環境学	大気水圏環境学	地圏環境学	自然防災工学
機械科学科	応用電子材料	電子情報機器	コンピュータ応用	マルチメディア処理
自然エネルギー学科	持続型エコシステム工学(環境センシング、環境調和型エンジンシステム、火災安全システム)			
	医用システム工学(マイクロ材料機能創製、医用デバイスシステム、ロボット知能システム)			
	低炭素エネルギー	地球熱利用	エネルギー貯蔵・輸送	資源探索



農学生命科学部

生物学、農学、経済並びに工学における実験と実習を重点的に行います

農学生命科学部は、次の5学科から構成されます。生物学科では、生命の仕組みを理解し、自然環境の管理と保全を学びます。分子生命科学科では、ミクロから生命の不思議を解明し、新しいバイオテクノロジーを作り出します。食料資源学科では、健康を考えた食料の開発と生物を巡る環境を考えます。国際園芸農学科では、自然環境と調和した農業と食料生産を追求し、それを巡る経済問題を学びます。地域環境工学科では、農学と工学を結び、地域環境づくりを考えます。それぞれの学科には複数の教育コースがあります。学部には2つの附属農場があり、農畜産物の生産における実学的経験を通して、農学生命科学分野における専門基礎を獲得した人材の育成を目指します。

学 科	教育コース	
生物学科	基礎生物学	生態環境
分子生命科学科	生命科学	応用生命
食料資源学科	食料バイオテクノロジー、食品科学、食料生産環境	
国際園芸農学科	園芸農学	食農経済
地域環境工学科	農業土木	農山村環境

人文社会科学部(修士課程)

地域や世界に開かれた大学院として

人文社会科学部は、文化科学専攻と応用社会科学専攻の2専攻のもとに、総合文化社会研究コース、地域人材育成コース、国際人材育成コースという3つのコースを設置しています。各コースでは、それぞれの学問分野に関係した高度で特色のある教育・研究を通して、地域社会の課題や日本および世界全体の動きに対応する高度専門職業人の養成を目指しています。

専攻

文化科学専攻 (総合文化社会研究コース 地域人材育成コース 国際人材育成コース)
 応用社会科学専攻 (総合文化社会研究コース 地域人材育成コース 国際人材育成コース)

教育学研究科(修士課程)

より深く学び、実践的に

教育学研究科は、教育学部の教職及び教科専門に関わる専門教育を基礎として、学校教育専攻、教科教育専攻並びに養護教育専攻をもつ、修業年限2年の修士課程です。教育学、教科教育学及び教科専門の諸科学について、精深な教育を行うと共に、高度な教育実践の資質能力を備えた人材を育成し、更に社会の変動とこれに基づく価値意識の多様化に即応して、現職教員の再教育の場を提供し、地域文化の向上や継承のための人材を育成することを目的としています。

専攻

学校教育専攻 教科教育専攻 養護教育専攻

医学研究科(博士課程)

高度で専門的な教育・研究を行います。

医学研究科は、医学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の発展に寄与することを目的としています。その課程では、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、また、その他の高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとします。

専攻	講座			
医科学専攻	基礎講座			
	神経解剖・細胞組織学	生体構造医科学	統合機能生理学	ゲノム生化学
	病態薬理学	分子病態病理学	病理生命科学	感染生体防御学
	社会医学	法医学		
	臨床講座			
	消化器血液内科学	循環器腎臓内科学	呼吸器内科学	内分泌代謝内科学
	腫瘍内科学	神経精神医学	小児科学	胸部心臓血管外科学
	消化器外科学	整形外科	リハビリテーション医学	皮膚科学
	泌尿器科学	眼科学	耳鼻咽喉科学	放射線科学
	産科婦人科学	麻酔科学	脳神経外科学	歯科口腔外科学
形成外科学	救急・災害医学	臨床検査医学	病理診断学	
小児外科学	医学医療情報学	総合診療医学	薬剤学	
附属教育研究施設等	講座			
附属脳神経血管病態研究施設	脳神経病理学	脳血管病態学	脳神経生理学	脳神経内科学
附属高度先進医学研究センター	分子生体防御学	糖鎖工学		
附属動物実験施設				
附属子どものこころの発達研究センター				
寄附講座	不整脈先進治療学	先進移植再生医学	地域医療学	心臓血管病先進治療学
	地域健康増進学	高血圧・脳卒中内科学	大館・北秋田地域医療推進学	地域総合診療医学推進学
	地域救急医療学	総合地域医療推進学	オーラルヘルスクエア学	

保健学研究科

博士前期課程

問題分析・解析能力を備えた高度医療専門職者の育成

保健学研究科博士前期課程では、学部教育をさらに発展させ、保健学の領域における教育と研究を通して知的財産を創造・蓄積すると共に、実践の場でリーダーシップを発揮し、指導的役割を果たすことのできる“コ・メディカルスタッフ”の育成を目標としています。また、緊急被ばく医療に関する高度専門職やリーダーを養成するとともに本分野の学問の発展に貢献できる教育者・研究者を育成する被ばく医療コース及び放射線被ばくに関連した複雑な健康問題を持つ個人、家族及び集団に対して高度看護実践を行うことのできる人材を育成する放射線看護高度看護実践コースも設定しています。

専攻 保健学専攻

博士後期課程

独創性・創造性豊かな教育研究者の育成

保健学研究科博士後期課程では、学部及び博士前期課程における教育・研究を通して得られた保健学に関する知識・技術・研究基礎能力を更に高め、人々の健康を保持増進し、生活の質(QOL)向上に向けた独創的・学際的な研究を自立的に進め、幅広い学識と高度な専門性、倫理性を身につけた教育・研究者を育成することを目的とします。また、緊急被ばく医療における高度な教育者及び研究者を養成するとともに本分野の学問の発展に貢献できる教育者・研究者を育成する被ばく医療コースも設定しています。

専攻 保健学専攻

理工学研究科

博士前期課程

理工融合を特徴とした高度専門教育

理工学研究科博士前期課程は、理工学に関わる教育を第一義とし、科学技術の高度化・多様化に順応することのできる「高度専門職業人の育成」を目指しています。数理科学、物理学、物質創成化学、地球環境学、電子情報工学、知能機械工学、新エネルギー創造工学の7コースと、社会人入学特別コースを開設し、4年間の学部教育と2年間の博士前期課程教育との連携を重視しつつ、更に進んだ理工学教育を行っています。

専攻 理工学専攻

博士後期課程

未来を切り開く先端科学技術の創造

理工学研究科博士後期課程は、社会に役立つ物質・材料の開発とその応用技術の確立を目指す機能創成科学専攻並びに高度に発達した社会における自然災害・人的社会的災害に対する危機管理技術の確立を目指す安全システム工学専攻の2専攻構成になっています。それぞれの専攻では、幅広い視野と柔軟で総合的な判断力を持って課題に対応できる人材を育成します。

専攻 機能創成科学専攻 安全システム工学専攻

農学生命科学研究科(修士課程)

農学生命科学分野において高度で専門的な教育・研究を行います

農学生命科学研究科には、生物学、分子生命科学、生物資源学、園芸農学および地域環境工学の5つのコースがあります。それぞれの学生は自身の将来の希望に基づき、2つの教育プログラム、すなわち学術研究プログラム(研究者養成)または実践研究プログラム(専門技術者養成)からいずれかを選択できます。広範囲な技術を理解し、熟練した地域社会の発展に貢献できる高度専門技術者、国際的視野をもつ優れた技術者並びに時代の要請を先取りし先端的研究に挑戦できる研究者の養成を目指します。

専攻 農学生命科学専攻

地域社会研究科(博士後期課程)

高度専門職業人の養成

地域社会研究科は、地域の持つ特有の課題に具体的に対処する人材を養成し、併せて実効性のある研究成果を生み出す教育研究機関として、活力のある地域社会の実現に積極的に貢献することを目的とし、2002年度に設置されました。本研究科は後期3年博士課程の独立研究科で、地域産業研究講座・地域文化研究講座・地域政策研究講座の3講座があります。3年間の学習と研究及び博士論文の作成によって「博士(学術)」の学位を取得できる指導体制をとっており、地域社会のさまざまな分野で活躍中の社会人も多数在籍しています。

専攻 地域社会専攻

岩手大学大学院連合農学研究科(博士後期課程)

国際水準を目指す研究者や高度専門職業人の養成

本研究科は、弘前大学大学院農学生命科学研究科(修士課程)、岩手大学・山形大学大学院農学研究科(修士課程)及び帯広畜産大学大学院畜産学研究科(修士課程)の教員組織、研究設備及び施設の連合により設立されました。各大学は、それぞれ教育と研究活動の両面において特色を備えています。本研究科の設置の目的は、我が国の北部に位置する各構成大学の特色を生かした教育と研究体制を整えることによって、生物生産科学、生物資源科学、寒冷圏生命システム学、生物環境科学に関する先端的・学際的諸研究を推進することです。これらの研究指導を通じて、高度の専門的能力と豊かな学識を備えた研究者・技術者を養成し、我が国の学術研究の進歩と関連産業並びに社会の発展に寄与するものであります。また、本研究科は、学術の国際交流を積極的に進める体制を作り、最近著しく増加している外国人留学生の受け入れについて、積極的に応じています。

専攻 生物生産科学専攻 生物資源科学専攻 寒冷圏生命システム学専攻 生物環境科学専攻





北日本新エネルギー研究所

設置：平成22年10月

北日本新エネルギー研究所では、寒冷地特有のエネルギーシステムに関する研究・教育・実践を行っています。主な研究は4分野に大別され、(1)低コスト珪砂還元プロセスによる太陽電池級シリコンの製造技術の開発や余剰熱を電気に変換できる熱電変換素子の開発、(2)熱分解や低温ガス化などバイオマスエネルギーの高度利用技術及び再生可能エネルギーから高効率に水素製造技術の開発、(3)地熱発電開発に向けての地熱資源調査・探査、地熱・地中熱資源のポテンシャル評価や温泉発電等地熱多段利用技術の研究開発、(4)海洋エネルギー発電に向けての調査・発電機システムの要素技術群の開発や地域漁業振興を目指すエネルギー利活用法の研究を実施しております。本研究所ではこれら以外にも、風力・潮流発電や省エネルギー関連技術を含めたエネルギー全般に関する研究に取り組んでおり、情報発信と人材育成によって新エネルギー産業の創造と地域産業の育成に努めています。



白神自然環境研究所

設置：平成22年10月

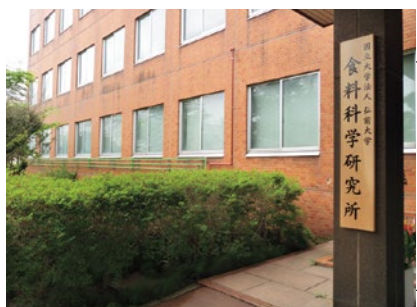
UNESCO世界自然遺産にも登録されている白神山地には原生的なブナ林が広がり、多様な動植物が生息しています。この地域の生態系や遺伝子資源の研究は、今後大いに推進すべき価値があります。将来的なブナ林の減少も懸念されているなか、動植物の標本資料の収集や気象関係の基礎データの蓄積はますます重要性を増しています。また、白神山地は一般市民の関心も高く、環境教育の場や子どもたちの理科離れ対策に資する場としても期待されています。このような背景から、本研究所は白神山地を主体として、北東北の動植物の分類学的・生態学的研究、地球温暖化の影響の研究を進めるとともに、人と森林の関係を見つめ直すことを通して環境教育を推進することを目的としています。



被ばく医療総合研究所

設置：平成22年10月

被ばく医療総合研究所では、外部及び内部被ばく線量評価、放射性核種及び環境放射線(能)の新規分析法・計測法の開発、放射性核種の環境動態解析、染色体異常を用いた被ばく線量評価や発がんのメカニズムなど、被ばく医療に資する基礎的研究を行っています。青森県には多くの原子力関連施設があり、万が一の原子力災害や放射線被ばく事故に備えることが重要です。福島原発事故への対応を受けて、国の原子力災害時および平常時における被ばく医療体制が大きく見直され、弘前大学は原子力災害に対応するナショナルセンターに指定されました。本研究所メンバーはその中心的な役割を果たすことが期待されています。また、弘前大学が掲げた戦略性が高く意欲的な目標・計画のひとつである「放射線科学・被ばく医療の国際的教育・研究拠点の構築」を推進する放射線被ばく医療の専門家集団として、国際的な視野を有する専門的人材の育成と世界トップレベルの研究開発にも取り組んでいます。



食料科学研究所

設置：平成25年3月

青森県の地理的特徴および気候条件から、本県は農林水産物資源が豊富かつ多様性に富みます。本研究所は青森県の農林水産物の機能性研究により、高付加価値化を実現し、競争力のあるブランド形成による地域振興を目的に設置され、現在、食品部門・水産部門・国際部門・地域部門の4部門を有しています。また高度で先端的な基礎研究による食料科学領域学術拠点の形成、産学官金の連携による地域振興、北日本農林水産物の成長戦略と国際化に関する研究開発を推進しています。

弘前大学附属図書館は1949年5月に設置され、附属図書館本館、医学部分館の構成で運用されています。現在約84万冊の図書資料を所蔵し、教育・研究図書資料をはじめDVD等の電子資料や電子ジャーナル約7,500誌の閲覧が可能です。利用サービスは、休業期間中を除き土曜日、日曜日も開館し、教育・研究活動を支援すると共に地域社会にも公開し学外者への貸出を行っています。また、インターネットホームページにより、利用案内、蔵書目録、電子ジャーナル、大学研究情報等の情報発信を行っています。

蔵書数

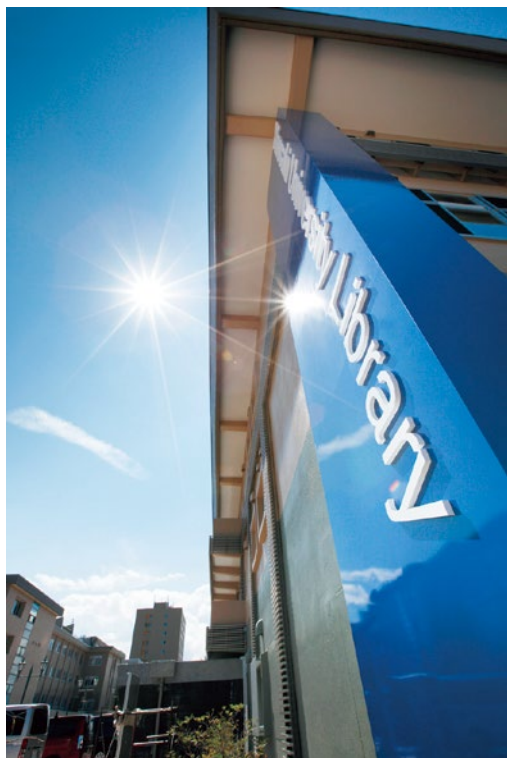
平成 28 年 3 月 31 日現在

区 分	本 館		医学部分館		合 計
	和漢書	洋 書	和漢書	洋 書	
合 計	500,796	164,267	98,638	75,323	839,024

利用状況

平成 27 年度

区 分	開館日数	入館者数	貸 出	
			人 数	冊 数
本 館	306	227,236	25,134	44,532
医 学 部 分 館	333	33,595	8,499	14,418
合 計		260,831	33,633	58,950





医学部附属病院

生命倫理に基づいた高度医療の提供、開発、教育

医学部附属病院は70年余に渡り、北東北医療圏の中心的中核病院として高度・高質医療の提供、先進医療の開発、医療従事者の教育・研修、それらを通しての地域貢献という役割を果たし、発展を続けています。

診療科

消化器内科	小児科	産科婦人科
血液内科	呼吸器外科	麻酔科
膠原病内科	心臓血管外科	脳神経外科
循環器内科	消化器外科	形成外科
呼吸器内科	乳腺外科	小児外科
腎臓内科	甲状腺外科	歯科口腔外科
内分泌内科	整形外科	病理診断科
糖尿病代謝内科	皮膚科	救急科
感染症科	泌尿器科	リハビリテーション科
神経内科	眼科	総合診療部
腫瘍内科	耳鼻咽喉科	高度救命救急センター
神経科精神科	放射線科	

高度救命救急センター

医学部附属病院には、緊急被ばく医療にも対応する高度救命救急センターが稼働しています。



航空写真(↓ センター建造物 ↓ ヘリポート)



センター地下1階 特殊処置室(訓練の様様)

病床数

平成28年5月1日現在

診療科	病床種別数		
	一般	精神	感染
消化器内科/血液内科/膠原病内科	37		
循環器内科/腎臓内科	39(49)		※1
呼吸器内科	20		
内分泌内科/糖尿病代謝内科/感染症科	30		
神経内科	9		
腫瘍内科	10		
神経科精神科		41	
小児科	37		
呼吸器外科/心臓血管外科	25		
消化器外科/乳腺外科/甲状腺外科	45		
整形外科	48		
皮膚科	12		
泌尿器科	37		
眼科	26		
耳鼻咽喉科	36		
放射線科	19		
産科婦人科	38		
麻酔科	3		
脳神経外科	21		
形成外科	15		
小児外科	6		
歯科口腔外科	10		
救急科	3		
リハビリテーション科	4		
感染症病床			6
R I	5		
I C U	16		
I C T U	4		
N I C U	6		
G C U	10		
S C U	6		
高度救命救急センター	20(10)		※2
合計	597	41	6

※1()内の病床数は、高度救命救急センターの後方病床10床を含む病床数。
 ※2()内の病床数は、後方病床10床を除く病床数。

患者数

平成27年度

診療科	入院患者数		外来患者数	
	患者延数	1日平均患者数	患者延数	1日平均患者数
消化器内科/血液内科/膠原病内科	12,469	34.1	29,000	119.3
循環器内科/呼吸器内科/腎臓内科	23,814	65.1	26,488	126.0
内分泌内科/糖尿病代謝内科/感染症科	9,384	25.6	24,898	102.5
神経内科	2,663	7.3	4,614	19.0
腫瘍内科	4,142	11.3	5,318	21.9
神経科精神科	9,680	26.4	24,700	101.6
小児科	15,008	41.0	7,599	31.3
呼吸器外科/心臓血管外科	8,434	23.0	5,050	20.8
消化器外科/乳腺外科/甲状腺外科	14,150	38.7	13,963	57.5
整形外科/リハビリテーション科	17,466	47.7	39,291	209.2
皮膚科	4,706	12.9	16,557	68.1
泌尿器科	13,410	36.6	18,224	75.0
眼科	8,434	23.0	19,173	78.9
耳鼻咽喉科	12,205	33.3	14,706	60.5
放射線科	7,390	20.2	44,436	182.9
産科婦人科	11,443	31.3	24,603	101.2
麻酔科	225	0.6	15,675	64.5
脳神経外科	10,964	30.0	6,128	25.2
形成外科	4,949	13.5	3,915	16.1
小児外科	1,575	4.3	2,091	8.6
歯科口腔外科	3,314	9.1	12,428	51.1
救急科	948	2.6	446	1.8
総合診療部	—	—	808	3.3
合計	196,773	537.6	360,111	1,481.9

(注)外来診療実日数 243日
 ※1 循環器内科/呼吸器内科/腎臓内科の入院患者数及び外来患者数には、呼吸器内科(平成27年10月～平成28年3月)の入院患者数4,021人、外来患者数5,660人を含む。
 ※2 整形外科/リハビリテーション科の入院患者数及び外来患者数には、リハビリテーション科(平成27年12月～平成28年3月)の入院患者数0人、外来患者数4,018人を含む。

区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
入院患者数	194,669	192,027	193,351	190,419	196,773
外来患者数	370,401	370,474	368,847	360,482	360,111



災害派遣医療チーム(DMAT)



ナビゲーションシステム「O-arm」



遠隔操作型内視鏡下手術システム「ダ・ヴィンチSi」



総合情報処理センター

設置：平成6年6月

総合情報処理センターは、711台の教育用パソコンや各種サーバから構成される情報システムとネットワークの運用を通じて、弘前大学における教育・研究活動及び管理運営業務を支援しています。

また、本学の情報戦略の中核として、学内の情報システムの基盤構築、ペーパーレス会議システムの技術提供、学内ネットワークの監視・解析及び情報セキュリティに関する教育・研究等を通じて、学内の情報化推進及び情報セキュリティの維持を行っています。



生涯学習教育研究センター

設置：平成8年5月

生涯学習教育研究センターは、地域づくりや子育て等地域課題の解決に取り組む実践的な活動をしている方や専門家の活動を支援する事業に積極的に取り組んでいます。また、一般市民の方々を対象とした公開講座も実施しております。地域と大学を結ぶ窓口として、これまで以上に地域連携を深めていきます。



保健管理センター

設置：昭和42年6月

保健管理センターでは、学生と職員が心身ともに健康な生活を送れるように援助やサービスを提供しています。例えば、健康診断、応急処置、健康相談、カウンセリングなどです。また、学生と職員の健康維持と病気予防のための研究調査を行っています。



アイソトープ総合実験室

設置：平成11年10月

アイソトープ総合実験室は、放射性同位元素 (RI) を利用した教育・研究の学内共同利用施設です。非密封RIを使用した40人規模の学生実習や、医学における基礎的研究、臨床応用研究を中心に、理学・農学などの幅広い分野の実験で全学的に利用されています。



機器分析センター

設置：平成15年9月

機器分析センターは、高性能分析機器を導入管理し、効率的な共同利用を推進することで弘前大学の研究の発展に寄与することを目的としています。さらに、保有機器を青森県内の民間企業や公的機関に開放し、地域の研究開発を支援しています。



教員免許状更新講習支援室

設置：平成20年10月

教員免許状更新講習支援室は、総合大学の特徴を活かしながら、教員免許更新制の目的に即した講習を実施することで、地域社会へ貢献することを目的とします。



出版会

設置：平成16年6月

出版会は、国立大学法人弘前大学設置記念事業の一環として設置されました。本出版会は、学術関連図書の新刊・頒布を主たる事業とし、本学及び北東北地方における研究とその成果の発表を助成することにより、我が国の学術・教育・研究の振興・発展に寄与することを目的としています。平成19年5月には、有限責任中間法人大学出版部協会への加盟を果たし、学術文化の向上と社会の進展への役割を担っています。



資料館

設置：平成24年10月

資料館は「弘前大学 過去から明日へ」をテーマとし、弘前大学の成り立ちと今のような研究や教育が行われているかを発信する施設です。弘前ねぶたの変遷を伝える弘大ねぶた絵の展示、学内の教員やチームが意欲的な研究成果を伝える企画展など、多彩な展示が行われています。



国際教育センター

設置：平成25年4月

国際教育センターは、弘前大学の教育の国際化に資することを目的として、従来の国際交流センターを廃止し設置されました。センターでは、本学学生をグローバル人材として育成するための教育の推進を新しい仕事の柱に加えるとともに、弘前大学生への留学支援、外国人留学生の受け入れ支援のための教育、助言、国際的コミュニケーションの向上を目的とした英語の授業の提供、地域の国際交流の支援などを行っています。



教養教育開発実践センター

【設置:平成27年10月】

教養教育開発実践センターは、本学における全学担当制による教養教育に関する企画立案、調整及び教養教育の実施並びに教育内容・授業方法の改善及び広報活動を行うとともに、教養教育に関する自己点検・評価について担当しています。

アドミッションセンター【設置:平成27年10月】

アドミッションセンターは、本学の入学者受入方針に応じた優れた入学者を確保するための入学者選抜方法等に関する調査研究・企画立案と、入試広報に関する企画立案・実施を目的としています。「調査研究部門」と「入試広報部門」の2つの部門が置かれ、業務を行っています。



キャリアセンター【設置:平成28年4月】

キャリアセンターは、キャリア教育及び就職支援を通して本学学生の進路決定や生涯を通じた持続的な就業力の育成をより円滑に推進することを目的としています。本学では、キャリア教育を社会全体の中での人生のあり方を見つけ、実現するための「生き方教育」と位置付けており、当センターではこの理念に基づいて、インターシップ、就職ガイダンス、業界研究会、各種企業説明会、就職相談、求人開拓及び情報収集等、さまざまなキャリア支援を行っています。

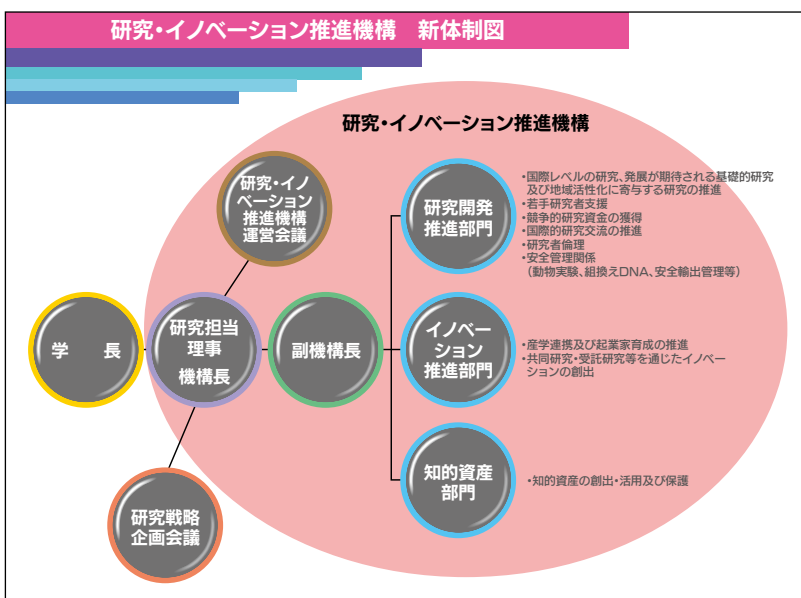
現在、弘前大学では、基礎的研究及び地域活性化に寄与する研究推進を図ることを研究目標とし、再生可能エネルギー、環境、被ばく医療、食の4テーマを重点分野として位置付け、関連する諸課題を中心とした研究を推進しております。

弘前大学研究・イノベーション推進機構は、本学の理念に基づき、研究、イノベーション及び産学連携を強力に推進するため、平成27年10月に新たに「研究開発推進部門」、「イノベーション推進部門」及び「知的資産部門」から成る「研究・イノベーション推進機構」に改組しました。

また、本機構の運営に関する事項の審議並びに本学の研究活動及びイノベーションの創出のための方針・戦略等の企画、立案を行う審議機関として「研究・イノベーション推進機構運営会議」を設置し、機構の重要事項等について審議することとしています。

これまでの産学連携活動に加え、研究活動の目標及び4つの重点分野の研究推進とともに、戦略的研究開発、イノベーションの推進及び戦略的知的資産の活用を行い、本学が目標として掲げる「イノベーションの創出と人材育成」を通して、地域貢献のさらなる推進を進め、研究活動の活性化に取り組みます。

【設置:平成25年12月】

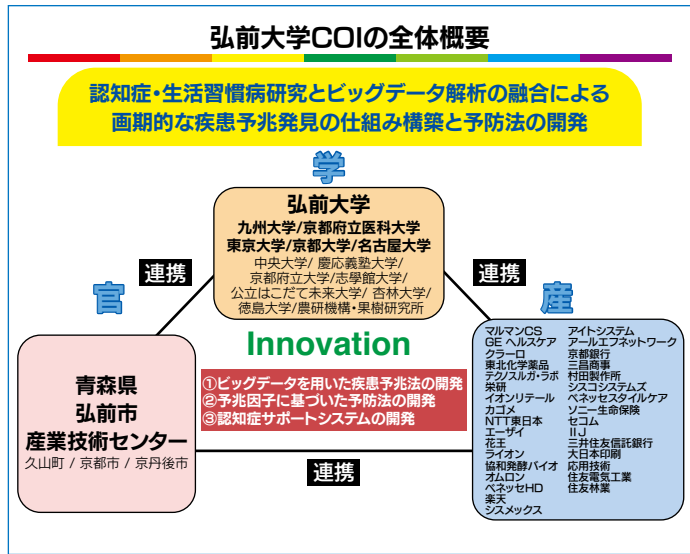


COI拠点長(RL) 医学研究科教授 中路 重之
COI事業統括(PL) マルマンコンピュータサービス(株)常務 工藤 寿彦

弘前大学COI研究推進機構では、“真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点”と銘打ち、医学研究科社会医学講座が岩木健康増進プロジェクトで平成17年度より10年以上に渡り収集してきた健康ビッグデータを用いた疾患予兆法の開発、予兆因子に基づいた予防法の開発、および認知症サポートシステムの開発に取り組んでいます。

COI(「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」)とは、文部科学省が平成25年度に開始したバックキャスト型の研究開発支援プロジェクトであり、現在潜在している将来社会のニーズから導き出される10年後をあるべき社会の姿、暮らしのあり方(ビジョン)の実現に向けた革新的な研究開発課題を産学官連携で研究し、実用化を目指す事業です。

弘前大学COI研究推進機構に革新的なイノベーションを創出するイノベーションプラットフォームを整備し、医療関係者を含む産学官金の連携で、革新的なイノベーションを実現します。健康ビッグデータを活用した健康増進と健康管理により、疾患に罹患してからの治療中心であったこれまでの医療から罹患を予防することに焦点を当てたリスクコンサーン型の予防医療への転換で「寿命革命」を起こします。



全学的に社会と連携した教育研究活動を推進するとともに、教育研究活動の成果を地域と結びつけ、地域の持続的な発展を促進するため、平成26年11月に「社会連携推進機構」を設置しました。

本機構の下に各学部等で社会連携や地域貢献を実践している教員を構成員とした「社会連携戦略会議」を置き、地域の要望と本学の資源にかかる情報共有や、大学における社会連携、地域貢献の方針等について分野横断的な検討を行い、地方創生の推進に向けた取組を開始しました。

また、むつ市役所・青森中央学院大学と共同して「むつサテライトキャンパス」を設置し、高等教育機会の充実や滞在型学習の支援、産業振興などに関する事業実施の拠点とすべく取り組んでいます。

さらに平成28年5月には「深浦エコサテライトキャンパス」を開設し、地方創生に取り組む地域自治体とともに、それぞれの地域の資源を生かした青森型地方創生を推進していきます。



弘前大学では、学部及び研究科における特徴ある教育、研究及び社会貢献に特化した研究者等の集団を組織化し、研究室の前に看板を掲げた学部及び研究科附属のセンターを設置しています。

学部	名 称	センター長
人文社会科学部	 地域未来創生センター	李 永 俊 教授
	 北日本考古学研究センター	関 根 達 人 教授
医学研究科	 北日本健康・スポーツ医科学センター	中 路 重 之 教授
	 北日本移植・幹細胞研究センター	大 山 力 教授
保健学研究科	 地域保健医療教育研究センター	丹 藤 雄 介 教授
	 生体応答科学研究センター	中 村 敏 也 教授
理工学研究科	 自然防災研究センター	有 賀 義 明 教授
農学生命科学部	 地域資源利活用研究センター	殿 内 暁 夫 教授

地域未来創生センターは、地域の諸課題を将来的な視野に立って検討し、その解決方を組織的に研究することや、地域の文化資源とその有効活用を組織的に調査・研究することをとおして、地域社会の発展に貢献することを目的としております。また、地域にまなざしをむけた教育プログラムを開発することにより、地域に貢献できる人材育成にも取り組んでおります。社会貢献活動として、各種イベントによる地域との交流を継続的に行っております。

北日本に広く分布する縄文遺跡群を中心とする埋蔵文化財の調査発掘・分析・保存等をはじめとして、この地域の考古学・文化財科学に関する教育・研究・社会貢献活動を行い、広く学界に貢献することを目的としています。過去の環境激変期を包括的に究明し、人類社会の未来を構想することや地域社会の活性化に寄与することを目指しています。展示室でのミニ博物館の活動や先進的分析法を専門教育に活用することで領域横断型グローバル人材を育成し、文化財の保存処理等を通じて産学官連携による地域資源活用の活性化に取り組んでいます。

本センターは「スポーツや運動を通しての健康づくり」に活動の中心をおき、地域の皆さんの健康の維持・増進を目指します。また、スポーツ現場における適切な強化策(トレーニング方法、健康管理方法、コンディショニング方法など)の提案も行います。

「北日本移植・幹細胞研究センター」は前身の「移植医療研究センター」をさらに発展・拡充させたものです。腎移植、肝移植、骨髄移植などの移植医療に幹細胞を利用した臓器再生医療の研究を加え、移植再生医療の国際的拠点を形成するとともに良質な移植医療の提供と臓器移植の普及を目的としています。移植と幹細胞研究を効率よくリンクさせて臓器再生を目指す試みは北日本唯一であり、腎移植の診療ネットワークと研究分野の主要領域である糖鎖生物学の研究ネットワークは東北・北海道地区の諸大学に及んでいるため名称に北日本と冠しました。

本センターは「すこやかコミュニティ支援部門」と「多職種連携医療推進部門」の2部門に分かれ、典型的な少子高齢化・医療過疎地域である本県や北東北の保健・医療の現状を把握し、住民への健康支援、医療関連多職種による包括的な地域医療・ケア推進などを通じて地域に貢献すると共に、住民にも開かれた教育・研究活動に寄与することを目的としています。

本センターは、大学院保健学研究科および被ばく医療総合研究所のメンバーの横断的な連携から、教育・研究の推進・向上を図ることを目的としています。メンバーにはストックホルム大学などの研究者も参加しており、放射線被ばくに対するストレス応答に関する研究課題を中心に教育・研究活動を展開しています。

東日本大震災をはじめ、これまで繰り返し甚大な地震被害を被っている我が国では、地震防災は安全で安心な社会を実現するために必須の要件です。青森地方では、最近、竜巻や豪雨などによる気象災害も頻発しており、また、県内には活火山もあります。自然防災研究センターでは、地震防災を中心に気象災害や火山災害、地盤災害も含め、自然災害の抑止軽減のための教育と研究に取り組んでいます。

地域資源利活用研究センターでは、本地域の遺伝子資源を発見、活用さらに産業化に応用すべく以下のテーマで研究を展開しています。

- ①津軽地域微生物を中心に未知生理活性二次代謝物の探索とその利用
- ②北東北地域に存在する未利用農林水産物の利活用に関する研究
- ③リンゴ及びナマコ等の青森県産地域特産物の高付加価値化及び6次産業化に関連する研究
- ④酵母や乳酸菌などの微生物のブランド化と発酵産業への応用に関する研究

平成 28 年 5 月 1 日現在

学長・理事・監事等

学 長		理事・副学長		監 事		学長特別補佐		副理事		計		合 計
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
1	—	6	1	1	1(1)	6(4)	1	4(2)	—	18(6)	3(1)	21(7)

()は非常勤で内数

※副学長、学長特別補佐、副理事については併任の者を含む。

区 分	教授		准教授		講師		助教		助手		附属学校 教員		計		事務職員 技術職員等		合計		総計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
現 員	188	24	167	29	84	26	145	44	41	22	45	53	670	198	356	706	1,026	904	1,930
事 務 局	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	120	52	120	52	172
人 文 社 会 学 部	24	7	23	6	10	3	—	—	—	—	—	—	57	16	2	6	59	22	81
教 育 学 部	32	8	20	3	13	4	—	—	—	1	45	53	110	69	11	4	121	73	194
大 学 院 医 学 研 究 科	36	—	31	1	17	2	57	15	11	6	—	—	152	24	15	6	167	30	197
大 学 院 保 健 学 研 究 科	18	9	7	7	13	7	11	10	2	4	—	—	51	37	5	3	56	40	96
医 学 部 附 属 病 院	—	—	10	1	26	6	42	13	27	11	—	—	105	31	154	611	259	642	901
大 学 院 工 学 研 究 科	38	—	37	3	3	—	13	1	1	—	—	—	92	4	17	6	109	10	119
農 学 生 命 学 部	24	—	26	4	—	—	13	1	—	—	—	—	63	5	18	5	81	10	91
大 学 院 地 域 社 会 研 究 科	1	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	3	—	3
北 日 本 新 エ ネ ル ギ ー 研 究 所	6	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	—	—	—	8	—	8
白 神 自 然 環 境 研 究 所	1	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	3	—	—	—	3	—	3
被 ば く 医 療 総 合 研 究 所	3	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	6	—	3	—	9	—	9
食 料 科 学 研 究 所	1	—	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	3	1	—	—	3	1	4
総 合 情 報 処 理 セ ン タ ー	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	1
生 涯 学 習 教 育 研 究 セ ン タ ー	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	2	—	2
保 健 管 理 セ ン タ ー	1	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	1	2	—	2	1	4	5
ア イ ソ ト ー プ 総 合 実 験 室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1
国 際 教 育 セ ン タ ー	—	—	2	2	—	—	—	1	—	—	—	—	2	3	—	—	2	3	5
附 属 図 書 館	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	10	7	10	17
教 育 推 進 機 構	1	—	1	1	1	2	2	—	—	—	—	—	5	3	—	—	5	3	8
研 究 ・ イ ノ ベ ー シ ョ ン 推 進 機 構	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	1
C O I 研 究 推 進 機 構	1	—	1	—	—	1	1	1	—	—	—	—	3	2	—	—	3	2	5
青 森 キ ャ ン パ ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	4	—	4
C O C 推 進 室	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	2	—	—	—	2	—	2
男 女 共 同 参 画 推 進 室	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	1

※事務局にはCOC推進室、学長戦略室及び法人内部監査室の事務職員を含む

入学者の状況

平成28年度

区 分	入学定員	入 学 志 願 者 数				入 学 者 数			
		男	女	計	倍 率	男	女	計	
人 文 社 会 科 学 部	265	519	422	941	3.55	145	130	275	
教 育 学 部	170	285	318	603	3.55	80	95	175	
医 学 部 医 学 科	112	678	401	1,079	9.63	63	49	112	
医 学 部 保 健 学 科	200	292	522	814	4.07	65	135	200	
理 工 学 部	360	878	190	1,068	2.97	306	57	363	
農 学 生 命 科 学 部	215	552	376	928	4.32	124	91	215	
計	1,322	3,204	2,229	5,433	4.11	783	557	1,340	
大 学 院	人 文 社 会 科 学 研 究 科 (修 士 課 程)	16	4	5	9	0.56	3	5	8
	教 育 学 研 究 科 (修 士 課 程)	32	21	22	43	1.34	16	18	34
	医 学 研 究 科 (博 士 課 程)	60	47	15	62	1.03	46	15	61
	保 健 学 研 究 科 (博 士 前 期 課 程)	30	36	18	54	1.80	26	10	36
	保 健 学 研 究 科 (博 士 後 期 課 程)	12	5	9	14	1.17	5	7	12
	理 工 学 研 究 科 (博 士 前 期 課 程)	120	107	16	123	1.03	98	15	113
	理 工 学 研 究 科 (博 士 後 期 課 程)	12	7	1	8	0.67	7	0	7
	農 学 生 命 科 学 研 究 科 (修 士 課 程)	60	25	15	40	0.67	23	13	36
	地 域 社 会 研 究 科 (博 士 後 期 課 程)	6	7	2	9	1.50	6	1	7
計	348	259	103	362	1.04	230	84	314	

[注]私費外国人留学生特別選抜は除く。

入学者の出身地

平成28年度

区 分	入学者数	出 身 地						
		北海道	東 北		関 東	中 部	近 畿	そ の 他
			青森県	その他				
人 文 社 会 科 学 部	275	103	123	39	3	5	0	2
教 育 学 部	175	23	80	40	16	12	0	4
医 学 部 医 学 科	112	1	49	12	32	7	7	4
医 学 部 保 健 学 科	200	46	74	62	9	2	2	5
理 工 学 部	363	143	145	55	8	9	1	2
農 学 生 命 科 学 部	215	67	53	51	26	10	4	4
計	1,340	383	524	259	94	45	14	21

2年次編入学

平成28年度

区 分	入学定員	入 学 志 願 者 数				入 学 者 数		
		男	女	計	倍 率	男	女	計
医 学 部 医 学 科	20	257	91	348	17.4	19	1	20

3年次編入学

平成28年度

区 分	入学定員	入 学 志 願 者 数				入 学 者 数		
		男	女	計	倍 率	男	女	計
医 学 部 保 健 学 科	30	13	22	35	1.17	4	6	10
理 工 学 部	10	16	1	17	1.70	4	0	4
農 学 生 命 科 学 部	*若干名	9	7	16	—	1	1	2
計	40	38	30	68	1.70	9	7	16

*は、定員外の募集人員を表す。

学部

平成 28 年 5 月 1 日現在

学部	学科・課程	入学 定員	第2年次 編入学	第3年次 編入学	収容 定員	現 員												計	
						1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次			
						男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
人文社会科学部	文化創生課程	110	—	—	110	50	64	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	114
	社会経営課程	155	—	—	155	95	68	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	163
	計	265	—	—	265	145	132	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	277
人文学部	人間文化課程	—	—	—	345	—	—	51	65	42	67	54	75	—	—	—	—	—	354
	現代社会課程	—	—	—	330	—	—	53	64	50	62	75	64	—	—	—	—	—	368
	経済経営課程	—	—	—	360	—	—	93	34	84	41	105	40	—	—	—	—	—	397
	計	—	—	—	1,035	—	—	197	163	176	170	234	179	—	—	—	—	—	1,119
教育学部	学校教育教員養成課程	150	—	—	585	81	74	73	68	67	78	84	87	—	—	—	—	—	612
	養護教諭養成課程	20	—	—	95	—	21	—	26	—	24	1	26	—	—	—	—	—	98
	生涯教育課程	—	—	—	210	—	—	30	48	32	42	42	48	—	—	—	—	—	242
	計	170	—	—	890	81	95	103	142	99	144	127	161	—	—	—	—	—	952
医学部	医学科	112	20	—	753	82	51	89	44	88	44	79	42	87	50	87	34	777	
	保健学科	200	—	30	860	65	138	67	133	67	142	79	135	—	—	—	—	—	826
	計	312	20	30	1,613	147	189	156	177	155	186	158	177	87	50	87	34	1,603	
理工学部	数物科学科	78	—	—	78	66	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	80
	物質創成化学科	52	—	—	190	41	11	40	8	33	12	46	9	—	—	—	—	—	200
	地球環境防災学科	65	—	—	65	50	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66
	電子情報工学科	55	—	—	229	50	6	53	5	55	3	66	4	—	—	—	—	—	242
	機械科学科	80	—	—	80	77	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	81
	自然エネルギー学科	30	—	—	30	24	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32
	数理科学科	—	—	—	120	—	—	38	1	34	6	41	6	—	—	—	—	—	126
	物理科学科	—	—	—	120	—	—	37	3	36	3	38	6	—	—	—	—	—	123
	地球環境学科	—	—	—	174	—	—	34	24	39	18	47	18	—	—	—	—	—	180
	知能機械工学科	—	—	—	174	—	—	51	6	50	8	57	5	—	—	—	—	—	177
	学部共通	—	—	10	20	—	—	—	—	4	—	3	1	—	—	—	—	—	8
計	360	—	10	1,280	308	59	253	47	251	50	298	49	—	—	—	—	—	1,315	
農学生命科学部	生物学科	40	—	—	160	31	9	28	16	22	19	24	23	—	—	—	—	—	172
	分子生命科学科	40	—	—	160	19	21	24	16	23	18	35	21	—	—	—	—	—	177
	食料資源学科	55	—	—	55	28	27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	55
	国際園芸農学科	50	—	—	50	21	29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50
	地域環境工学科	30	—	—	120	25	5	18	10	22	8	28	6	—	—	—	—	—	122
	生物資源学科	—	—	—	105	—	—	22	13	22	13	24	14	—	—	—	—	—	108
	園芸農学科	—	—	—	120	—	—	21	18	22	19	35	15	—	—	—	—	—	130
	計	215	—	—	770	124	91	113	73	111	77	146	79	—	—	—	—	—	814
合計	1,322	20	40	5,853	805	566	822	602	792	627	963	645	87	50	87	34	6,080		

大学院

平成28年5月1日現在

区 分		入 学 員	収 容 員	現 員								計
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				男	女	男	女	男	女	男	女	
大 学 院	人文社会科学研究科(修士課程)	16	32	3	5	15	19	—	—	—	—	42
	教育学研究科(修士課程)	32	64	16	18	17	24	—	—	—	—	75
	医学研究科(博士課程)	60	210	49	18	32	15	29	15	44	27	229
	保健学研究科(博士前期課程)	30	55	26	10	23	18	—	—	—	—	77
	保健学研究科(博士後期課程)	12	30	5	7	8	2	7	13	—	—	42
	理工学研究科(博士前期課程)	120	210	100	15	87	13	—	—	—	—	215
	理工学研究科(博士後期課程)	12	28	8	1	6	3	11	3	—	—	32
	農学生命科学研究科(修士課程)	60	120	24	14	22	13	—	—	—	—	73
	地域社会研究科(博士後期課程)	6	18	6	1	8	2	14	5	—	—	36
計		348	767	237	89	218	109	61	36	44	27	821
岩手大学大学院連合農学研究科(博士後期課程) ※現員数は弘前大学(指導教員)に属する学生数である。		32	96	6	3	7	1	12	1	—	—	30
合 計		380	863	243	92	225	110	73	37	44	27	851

附属学校

平成28年5月1日現在

区 分	総 定 員	学級数	現 員						計
			1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	
附 属 幼 稚 園	90	4	3才児 25	4才児 24	5才児 29	—	—	—	78
附 属 小 学 校	663	21	102	91	82	102	87	90	554
附 属 中 学 校	530	15	162	163	195	—	—	—	520
附 属 特 別 支 援 学 校			低学年		中学年		高学年		
(小学部)	18	3	5		6		4		15
(中学部)	18	3	6	6	6	—	—	—	18
(高等部)	24	3	8	8	8	—	—	—	24
合 計	1,343								1,209

学 部

区 分	年 度	昭和25~平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	合 計
文 理 学 部		1,392	—	—	—	—	—	1,392
人 文 学 部		10,821	318	336	332	325	332	12,464
教 育 学 部	4 年 課 程	15,792	241	235	234	216	247	16,965
	2 年 課 程	1,613	—	—	—	—	—	1,613
	計	17,405	241	235	234	216	247	18,578
医 学 部 医 学 科		5,322	97	107	110	115	121	5,872
医 学 部 保 健 学 科		1,491	210	212	207	191	214	2,525
理 学 部		5,112	—	—	—	—	—	5,112
理 工 学 部		2,854	301	285	293	294	285	4,312
農 学 部		4,541	—	—	—	—	—	4,541
農 学 生 命 科 学 部		1,848	190	185	182	176	174	2,755
合 計		50,786	1,357	1,360	1,358	1,317	1,373	57,551

(注) ●文理学部…昭和40年4月 人文学部、理学部に改組 ●理学部、農学部…平成9年10月 理工学部、農学生命科学部に改組

大学院

区 分	年 度	昭和35~平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	合 計
人 文 科 学 研 究 科(修士課程)		111	—	—	—	—	—	111
人 文 社 会 科 学 研 究 科(修士課程)		140	10	12	11	9	10	192
教 育 学 研 究 科(修士課程)		531	24	24	29	33	31	672
医 学 研 究 科(博士課程)		1,715	42	46	58	39	49	1,949
医 学 系 研 究 科(修士課程)		54	—	—	—	—	—	54
保 健 学 研 究 科(博士前期課程)		64	26	22	20	25	24	181
保 健 学 研 究 科(博士後期課程)		16	10	8	13	4	7	58
理 学 研 究 科(修士課程)		844	—	—	—	—	—	844
理 工 学 研 究 科(修士課程)		153	—	—	—	—	—	153
理 工 学 研 究 科(博士前期課程)		500	111	107	82	85	93	978
理 工 学 研 究 科(博士後期課程)		23	5	1	4	7	10	50
農 学 研 究 科(修士課程)		435	—	—	—	—	—	435
農 学 生 命 科 学 研 究 科(修士課程)		378	44	50	39	43	49	603
地 域 社 会 研 究 科(博士後期課程)		15	4	1	4	3	2	29
合 計		4,979	276	271	260	248	275	6,309

(注) ●人文科学研究科(修士課程)…平成11年4月 人文社会学研究科(修士課程)に改組 ●理学研究科(修士課程)…平成14年4月 理工学研究科(修士課程)に改組
●農学研究科(修士課程)…平成14年4月 農学生命科学研究科(修士課程)に改組 ●理工学研究科(修士課程)…平成16年4月 理工学研究科(博士前期課程)に改組

専攻科

区 分	年 度	昭和35~平成10年度	合 計
人 文 学 専 攻 科(平成11年3月廃止)		41	41
教 育 専 攻 科(平成6年3月廃止)		100	100
理 学 専 攻 科(昭和53年3月廃止)		70	70
農 学 専 攻 科(昭和46年3月廃止)		28	28

医療技術短期大学部

区 分	年 度	昭和50~平成15年度	合 計
学 科		4,615	4,615
専 攻 科		548	548

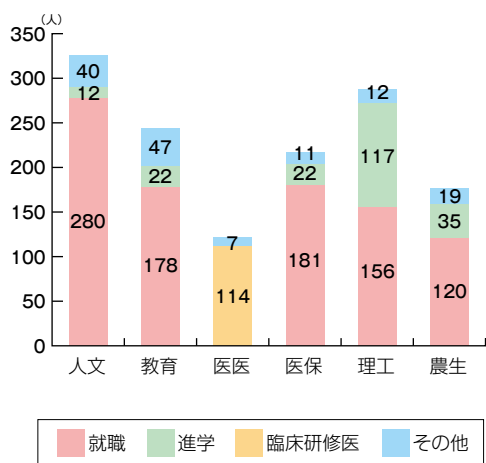
業種別就職者数

平成28年5月1日現在

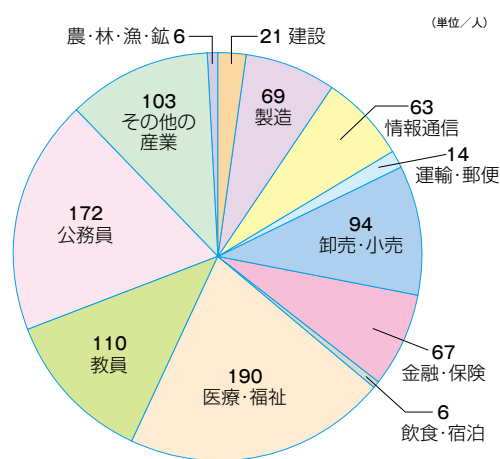
就職先等		区分	人文学部	教育学部	医学部医学科	医学部保健学科	理工学部	農学生命科学部	合計	
卒業業者数			332	247	121	214	285	174	1,373	
就職者数	農・林・漁・鉱		1	1	—	—	1	3	6	
	建設		7	1	—	—	9	4	21	
	製造		17	4	—	—	33	15	69	
	情報通信		23	3	—	—	29	8	63	
	運輸・郵便		8	3	—	—	2	1	14	
	卸売・小売		48	13	—	—	12	21	94	
	金融・保険		52	9	—	—	3	3	67	
	飲食・宿泊		2	1	—	—	1	2	6	
	医療・福祉		—	7	—	180	1	2	190	
	教育(教員)	小学校		—	41	—	—	—	—	41
		中学校		3	27	—	—	3	—	33
		高等学校		2	7	—	—	7	6	22
		※その他		—	14	—	—	—	—	14
公務員	国家		26	2	—	—	5	2	35	
	地方		54	21	—	1	30	31	137	
その他の産業			37	24	—	—	20	22	103	
計			280	178	—	181	156	120	915	
進学者数			12	22	—	22	117	35	208	
臨床研修医			—	—	114	—	—	—	114	
上記以外			40	47	7	11	12	19	136	

※印欄は、中等教育学校、高等専門学校、大学、特別支援学校及び幼稚園の教員数

学部別卒業後の状況



産業別就職者数



学位授与数

平成27年度

種 類	授 与 数					
	課程修了	論文審査	計	新制累計		旧制総数
				課程修了	論文審査	
修 士 (文 学)	—	—	—	111	—	—
修 士 (人 文 社 会 科 学)	10	—	10	192	—	—
修 士 (教 育 学)	31	—	31	672	—	—
博 士 (医 学)	49	2	51	1,949	884	469
修 士 (看 護 学 又 は 保 健 学)	24	—	24	235	—	—
博 士 (保 健 学)	7	—	7	58	2	—
修 士 (理 学)	—	—	—	844	—	—
博 士 (理 学 又 は 工 学)	10	—	10	51	—	—
修 士 (理 工 学)	93	—	93	1,131	—	—
修 士 (農 学)	—	—	—	435	—	—
修 士 (農 学 生 命 科 学)	49	—	49	603	—	—
博 士 (学 術)	2	1	3	32	5	—
合 計	275	3	278	6,313	891	469

研究報告

平成27年度

学 部 等	刊 行 物
人 文 学 部	人文社会論叢
教 育 学 部	弘前大学教育学部紀要 弘前大学教育学部研究紀要 クロスロード
大 学 院 医 学 研 究 科	弘前医学
大 学 院 保 健 学 研 究 科	保健科学研究
農 学 生 命 科 学 部	弘前大学農学生命科学部学術報告
大 学 院 地 域 社 会 研 究 科	弘前大学大学院地域社会研究科年報
白 神 自 然 環 境 研 究 所	SHIRAKAMI-SANCHI
北 日 本 新 エ ネ ル ギ ー 研 究 所	弘前大学北日本新エネルギー研究所年報

区分 学部等		学生数 (A)	奨学生数			比率
			第一種	第二種	計 (B)	$\frac{(B)}{(A)}\%$
人	文 学 部	1,471	434	420	854	58.1
教	育 学 部	1,028	294	275	569	55.4
医	学 部 医 学 科	772	166	181	347	44.9
医	学 部 保 健 学 科	824	301	250	551	66.9
理	工 学 部	1,246	383	366	749	60.1
農	学 生 命 科 学 部	776	201	216	417	53.7
計		6,117	1,779	1,708	3,487	57.0
大 学 院	人 文 社 会 科 学 研 究 科	45	7	3	10	22.2
	教 育 学 研 究 科	75	25	3	28	37.3
	医 学 系 研 究 科 (医 科 学)	1	—	—	—	—
	医 学 研 究 科 (医 科 学)	210	—	—	—	—
	保 健 学 研 究 科 (博 士 前 期 課 程)	66	10	—	10	15.2
	保 健 学 研 究 科 (博 士 後 期 課 程)	39	3	1	4	10.3
	理 工 学 研 究 科 (博 士 前 期 課 程)	201	96	18	114	56.7
	理 工 学 研 究 科 (博 士 後 期 課 程)	35	5	—	5	14.3
	農 学 生 命 科 学 研 究 科	87	34	6	40	46.0
	地 域 社 会 研 究 科	34	5	1	6	17.6
計		793	185	32	217	27.4
合 計		6,910	1,964	1,740	3,704	53.6

大学間協定

平成28年5月1日現在

締結大学	国名	締結年月日
テネシー大学マーチン校	アメリカ合衆国	昭和55年 7月 8日
ボルドー・モンテニユ大学	フランス共和国	平成 6年 1月31日
哈爾濱師範大学	中華人民共和国	平成 7年 8月 1日
国立極東総合医科大学	ロシア連邦	平成 7年12月14日
メーン州立大学	アメリカ合衆国	平成 9年 6月26日
ヒッペリオン大学	ルーマニア	平成10年 9月11日
トリア大学	ドイツ連邦共和国	平成11年 5月 3日
延辺大学	中華人民共和国	平成12年 8月28日
ロモノソフモスクワ大学	ロシア連邦	平成12年 9月20日
オタゴ大学	ニュージーランド	平成12年 9月20日
鄭州大学	中華人民共和国	平成12年10月12日
チェンマイ大学	タイ王国	平成12年11月 2日
デブレツェン大学	ハンガリー共和国	平成12年12月22日
サンディエゴ州立大学	アメリカ合衆国	平成13年 3月19日
南ソウル大学校	大韓民国	平成13年 6月 1日
慶北大学校	大韓民国	平成13年 7月11日
サスカチュワン大学	カナダ	平成13年12月 7日
釜山大学校	大韓民国	平成13年12月12日
オークランド工科大学	ニュージーランド	平成13年12月12日
イルクーツク大学	ロシア連邦	平成14年 3月20日
ラ・フロンテラ大学	チリ共和国	平成14年 6月25日
京畿大学校	大韓民国	平成14年 9月25日
マウント・ロイアル大学	カナダ	平成17年 6月 1日
トンブソン・リバーズ大学	カナダ	平成18年10月19日
コンケン大学	タイ王国	平成20年 5月 6日
大連理工大 学	中華人民共和国	平成21年12月28日

部局間協定

平成28年5月1日現在

学部	締結大学等	国名	締結年月日
人文社会科学部	ヘルシンキ大学ルラリア研究所	フィンランド共和国	平成21年 9月 7日
教育学部	サウスカロライナ大学	アメリカ合衆国	平成 6年 7月20日
医学研究科	テネシー大学保健科学センター	アメリカ合衆国	昭和57年 5月19日
	西インド大学	ジャマイカ	平成14年 2月25日
	中国医科大学	中華人民共和国	平成17年10月25日
	リュブリャナ大学	スロベニア共和国	平成26年11月28日
保健学研究科	ストックホルム大学放射線防護研究センター	スウェーデン王国	平成25年 3月 6日
農学生命科学部	中国農業大学農学与生物技術学院	中華人民共和国	平成17年 8月 1日
	カセサート大学農学部	タイ王国	平成27年 3月27日
	中国瀋陽農業大学園芸学院	中華人民共和国	平成27年11月 3日
北日本新エネルギー研究所	タマサート大学理工学部	タイ王国	平成25年 3月14日
	太原理工大学化学化工学院	中華人民共和国	平成25年 6月 9日
	太原理工大学石炭化工研究所	中華人民共和国	平成25年 6月 9日
被ばく医療総合研究所	韓国放射線医学研究所緊急被ばく医療センター	大韓民国	平成25年 1月21日
	パノニア大学工学部放射化学・放射生態学研究所	ハンガリー共和国	平成25年 3月18日
	チュラロンコン大学工学部原子核工学科	タイ王国	平成25年11月20日
	ベトナム原子力研究所原子力科学技術研究所	ベトナム社会主義共和国	平成25年11月22日
	中国衡陽師範学院物理・情報科学部	中華人民共和国	平成26年11月11日
	フィリピン原子力研究所	フィリピン共和国	平成27年 6月30日
医学部附属病院	釜山大学病院臨床試験センター	大韓民国	平成24年11月17日
白神自然環境研究所	ロシア科学アカデミー極東支部ウラジオストク植物園研究所	ロシア連邦	平成27年 2月20日

外国人留学生数

平成28年5月1日現在

区 分	学 部 等	国 名														計				
		中国	台湾	大韓民国	タイ	マレーシア	インドネシア	ベトナム	モンゴル	ミャンマー	インド	バングラデシュ	アメリカ	カナダ	フランス		ハンガリー	オーストラリア	アルジェリア	ガーナ
学部留学生	私費正規留学生	人文学部	12	1	1		3													17
		人文社会科学部			1		1													2
		教育学部	2																	2
		医学部医学科	1		1					1										3
		医学部保健学科	2																	2
		理工学部	4			1	1													6
		農学生命科学部	1						1											2
	私費研究生	人文社会科学部	2																	2
		教育学部	1																	1
		農学生命科学部	1																	1
	科目等履修生・聴講生	人文学部	4			4							2	1	2					13
		人文社会科学部	5		4	2							4				1			16
		教育学部	2																	2
		理工学部	4																	4
		農学生命科学部														1				1
国費日本語・日本文化研修留学生	人文学部	1								1									2	
大学院留学生	国費正規留学生	医学研究科														1			1	
		理工学研究科				2	1											4		7
	私費正規留学生	人文社会科学研究科	16																1	17
		教育学研究科	4																	4
		医学研究科	8																	8
		理工学研究科	8	1		1	2	1												13
		農学生命科学研究科	6						1	1										8
		地域社会研究科	3																	3
連合農学研究科	5				1					1								7		
合 計		92	2	7	10	7	3	2	1	1	1	1	6	1	2	2	1	4	1	144

協定締結校を含めた海外大学等との国際交流を通じて、学術交流、人材交流等を推進するため、海外拠点事務所では、以下の業務を行っています。

1. 優秀な留学生確保のための業務(本学のPR活動、留学希望者の問合せ対応)
2. 本学からの派遣留学生への支援活動
3. 本学での留学経験を有する卒業生・修了生との連携、ネットワーク形成支援
4. 拠点設置国の教育研究機関との学術交流支援(情報収集・提供・調整等)
5. その他本学の国際化に資する活動

(1) 大連事務所【中華人民共和国】

- 設置時期／平成24年7月13日
- 設置場所／大連理工大学エネルギー研究院内



(2) コンケン事務所【タイ王国】

- 設置時期／平成24年12月14日
- 設置場所／コンケン大学人文社会学部
Rattanapittaya Building内



(3) 延辺事務所【中華人民共和国】

- 設置時期／平成25年10月15日
- 設置場所／延辺大学国際交流合作処内



国際連携本部

- 設置時期／平成25年4月

国際連携本部は、本学の国際化推進に係る施策の企画立案等を行い、大学間協定校等との交流を通じ、本学の教育研究の更なる国際化に資することを目的としています。



収入

単位：千円

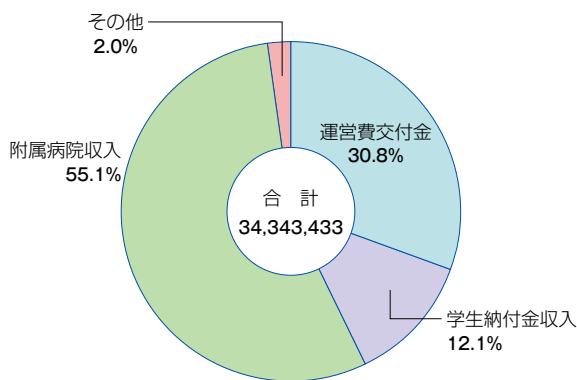
区 分	収 入 額
運 営 費 交 付 金	10,576,104
自 己 収 入	23,767,329
学 生 納 付 金 収 入	4,174,894
附 属 病 院 収 入	18,909,028
財 産 貸 付 料 収 入	124,448
農 場 収 入	12,913
処 分 収 入	566
財 務 収 益	8,056
そ の 他 の 収 入	537,424
合 計	34,343,433
運 営 費 交 付 金	10,576,104
学 生 納 付 金 収 入	4,174,894
附 属 病 院 収 入	18,909,028
そ の 他	683,407

支出

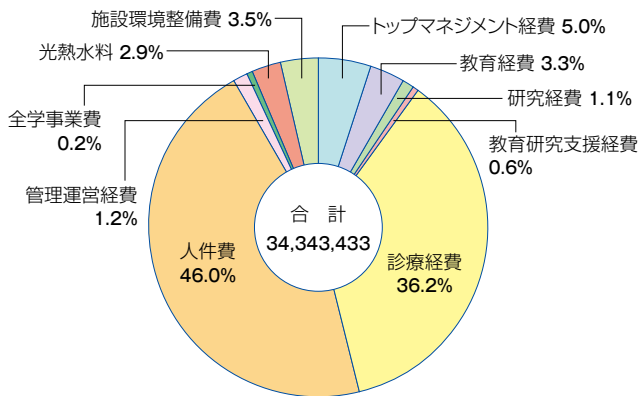
単位：千円

区 分	支 出 額
ト ッ プ マ ネ ジ メ ン ト 経 費	1,708,720
教 育 経 費	1,144,363
研 究 経 費	375,948
教 育 研 究 支 援 経 費	203,469
診 療 経 費	12,436,159
人 件 費	15,785,242
管 理 運 営 経 費	410,805
全 学 事 業 費	80,448
光 熱 水 料	985,585
施 設 環 境 整 備 費	1,212,694
合 計	34,343,433

収 入 (単位:千円)



支 出 (単位:千円)

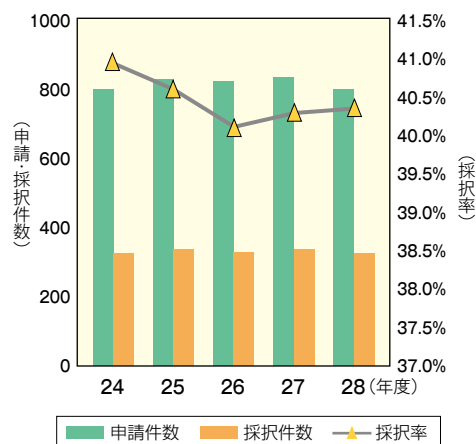


科学研究費助成事業 (平成28年度)

単位：千円

研 究 種 目	件 数	配分額		
		直接経費	間接経費	計
新 学 術 領 域 研 究	8	41,700	12,510	54,210
基 盤 研 究 (S)	1	27,600	8,280	35,880
基 盤 研 究 (A)	6	37,900	11,370	49,270
基 盤 研 究 (B)	19	75,200	22,560	97,760
基 盤 研 究 (C)	164	174,500	52,350	226,850
挑 戦 的 萌 芽 研 究	41	41,500	12,450	53,950
若 手 研 究 (A)	1	3,700	1,110	4,810
若 手 研 究 (B)	80	77,800	23,340	101,140
研 究 活 動 ス タ ー ト 支 援	1	1,100	330	1,430
合 計	321	481,000	144,300	625,300

科学研究費助成事業申請・採択状況



※件数及び金額は、本学に交付内定通知があったもの。(平成28年5月現在)
 ※基金・一部基金研究種目については、平成28年度当初計画への配分額を計上した。

外部資金受入状況 (平成27年度)

単位：千円

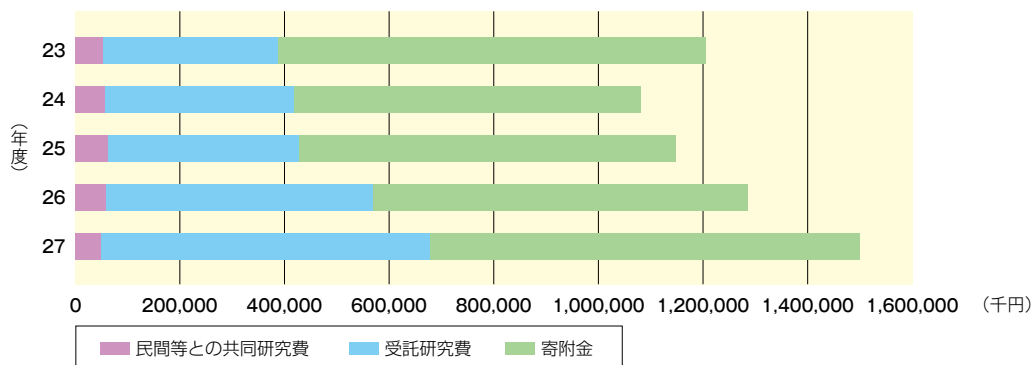
部 局 等	民間等との共同研究費		受託研究費		寄 附 金	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
人 文 学 部	— ^件	—	3 ^件	7,978	4 ^件	1,900
教 育 学 部	—	—	1	1,895	6	5,270
医 学 研 究 科	20	34,207	32	465,620	503	608,639
保 健 学 研 究 科	—	—	6	27,883	18	7,872
医 学 部 附 属 病 院	—	—	3	3,364	47	38,166
理 工 学 研 究 科	23	17,393	14	32,852	20	16,085
農 学 生 命 科 学 部	14	5,399	19	30,196	34	34,075
地 域 社 会 研 究 科	—	—	1	5,500	—	—
北 日 本 新 工 ネ ル ギ ー 研 究 所	—	—	5	34,345	5	66,692
食 料 科 学 研 究 所	—	—	4	12,505	1	2,800
被 ば く 医 療 総 合 研 究 所	1	756	1	5,960	—	—
総 合 情 報 処 理 セ ン タ ー	—	—	—	—	1	830
地 域 共 同 研 究 セ ン タ ー	1	420	—	—	—	—
保 健 管 理 セ ン タ ー	—	—	—	—	2	620
附 属 図 書 館	—	—	—	—	2	1,200
事 務 局	—	—	—	—	316	44,469
合 計	59	58,175	89	628,098	959	828,618

※件数：複数年契約を含む
 ※金額：平成27年度受入額
 ※医学部附属病院の受託研究費には治験を含んでいない。

外部資金受入状況

単位：千円

区 分	民間等との共同研究費		受託研究費		寄 附 金	
	受入件数	受入金額	受入件数	受入金額	受入件数	受入金額
平成23年度	44件	60,356	86件	324,153	729件	820,922
平成24年度	54	67,585	100	341,113	703	682,904
平成25年度	38	73,059	100	347,897	663	710,030
平成26年度	48	68,693	92	493,619	690	723,161
平成27年度	59	58,175	89	628,098	959	828,618

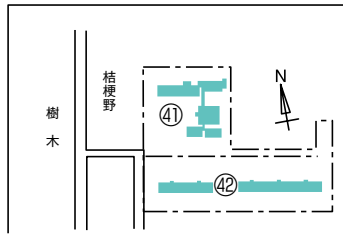
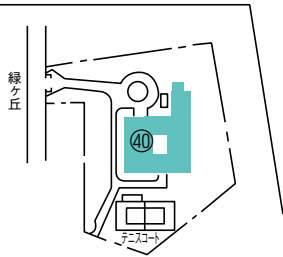


部局等名	所在地	電話番号
事務局 人文社会科学部 教育学部 教育学部附属教育実践総合センター 教育学部附属教員養成学研究開発センター 地域社会研究科 生涯学習教育研究センター 保健管理センター 教員免許状更新講習支援室 男女共同参画推進室 出版会 資料館 国際教育センター ボランティアセンター 国際連携本部 附属図書館 創立50周年記念会館 旧制弘前高等学校外国人教師館	〒036-8560 弘前市文京町1	0172-36-2111 (大代表)
北溟寮(男子・留学生混住型)	〒036-8253 弘前市緑ヶ丘1-8-4	0172-32-3364
国際交流会館	〒036-8227 弘前市桔梗野2-20-17	0172-37-6854
理工学研究科 理工学研究科附属地震火山観測所 農学生命科学部 農学生命科学部附属遺伝子実験施設 総合情報処理センター 機器分析センター	〒036-8561 弘前市文京町3	0172-36-2111 (大代表)
医学研究科 医学研究科附属脳神経血管病態研究施設 医学研究科附属高度先進医学研究センター 医学研究科附属動物実験施設 医学研究科附属子どものこころの発達研究センター アイソトープ総合実験室 附属図書館医学部分館	〒036-8562 弘前市在府町5 ユニバーシティ・ メディカルセンター	0172-33-5111 (大代表)
医学部附属病院	〒036-8563 弘前市本町53	
医学部附属病院看護師宿舎(研修医宿舎)	〒036-8311 弘前市相良町26	
保健学研究科 被ばく医療総合研究所	〒036-8564 弘前市本町66-1	0172-39-5401
医学部コミュニケーションセンター	〒036-8203 弘前市本町40-1	0172-39-5240
教育学部附属幼稚園		0172-32-6815
教育学部附属小学校	〒036-8152 弘前市学園町1-1	0172-32-7202
教育学部附属中学校		0172-32-7201
教育学部附属特別支援学校	〒036-8174 弘前市富野町1-76	0172-36-5011
北鷹寮(男子寮) 朋寮(女子寮)	〒036-8152 弘前市学園町1-1	0172-32-2910
理工学研究科寒地気象実験室	〒036-1424 中津軽郡西目屋村川原平大川添101-1	0172-36-2111 (大代表)
農学生命科学部附属生物共生教育研究センター-藤崎農場	〒038-3802 南津軽郡藤崎町藤崎下袋7-1	0172-75-3026
農学生命科学部附属生物共生教育研究センター-金木農場	〒037-0202 五所川原市金木町芦野84	0173-53-2029
農学生命科学部附属深浦実験所	〒038-2300 西津軽郡深浦町吾妻沢173	0173-74-3887
北日本新エネルギー研究所	〒030-0813 青森市松原2-1-3	017-735-3363
白神自然環境研究所	〒036-1424 中津軽郡西目屋村川原平大川添101-1	0172-39-3915 (社会連携部社会連携課)
食料科学研究所	〒038-0012 青森市柳川2-1-1	017-763-5028
文京荘(非常勤講師宿泊施設)	〒036-8221 弘前市紙漣町3-8	0172-32-0715
深浦ハウス	〒038-2300 西津軽郡深浦町深浦岡崎338-229	0173-74-3085
八戸サテライト	〒031-8511 八戸市堀端町2-3 八戸商工会館1階	0178-43-1600
青森サテライト教室	〒030-0813 青森市松原2-1-3	0172-39-3108 (学務部教務課)
東京事務所	〒105-0003 東京都港区西新橋1-18-6 クロスオフィス内幸町7階 703号室	03-3519-5060

地区	区分	土地 (m ²)	建物延面積 (m ²)
文京町地区	事務局		2,373
	旧制弘前高等学校外国人教師館		123
	保健管理センター		477
	創立50周年記念会館		1,515
	電話交換室・車庫ほか		874
	人文社会科学部		6,089
	教育学部		16,926
	教育学部附属教育実践総合センター		541
	総合教育棟		11,927
	附属図書館	135,267	6,111
	合宿所及びサークル共用施設		264
	大学会館		4,952
	ボイラ室及び消火設備		923
	第一・第二体育館		3,394
	弓道場		140
	農学生命科学部		13,200
	コラボレーションセンター		4,582
	コラボ弘大		3,758
	農学生命科学部附属遺伝子実験施設		1,527
	理工学研究科		22,663
理工学研究科附属地震火山観測所		268	
総合情報処理センター		2,351	
多目的広場		—	
武道場		883	
サークル棟		1,173	
	計	135,267	107,034
学園町地区	教育学部附属幼稚園		1,065
	教育学部附属小学校		8,288
	教育学部附属中学校	176,403	8,171
	学生寄宿舎		6,372
	総合運動施設		3,077
	計	176,403	26,973

地区	区分	土地 (m ²)	建物延面積 (m ²)	
ユニバーシティ・メディカルセンター ([本町地区])	医学研究科・保健学研究科		56,665	
	医学部コミュニケーションセンター		894	
	野球場		—	
	医学部附属病院	94,511	74,320	
	体育館		1,457	
	看護師宿舎 (研修医宿舎)		2,350	
	女性医師支援施設		250	
	計	94,511	135,936	
	その他	学生寄宿舎	9,631	3,279
		教育学部附属特別支援学校	10,617	3,874
教育学部附属特別支援学校実習施設		1,603	33	
教育学部農業実習地		10,812	47	
理工学研究科附属地震火山観測所				
岩崎地震観測点		(617)	40	
三厩地震観測点		(747)	20	
泊地震観測点		(524)	40	
梵珠山火山観測点		(352)		
浜横沢火山観測点		(14)		
百沢火山観測点		(180)	45	
農学生命科学部附属生物共生 教育研究センター藤崎農場		142,607	2,391	
農学生命科学部附属生物共生 教育研究センター金木農場		358,798	4,806	
深浦実習所		798	165	
北日本新エネルギー研究所		(1,604)	(2,454)	
白神自然環境研究所		(178,560)	255	
食料科学研究所		(516)	(316)	
深浦ハウス		6,632	159	
文京荘		1,617	581	
国際交流会館		3,143	2,030	
職員宿舎	5,147	9,379		
納骨堂	(30)	8		
埋骨堂	(18)	—		
その他	3,676	500		
計	738,243	30,422		
合計	1,144,424	300,365		

()は借用



②創立60周年記念会館 コラボ弘大

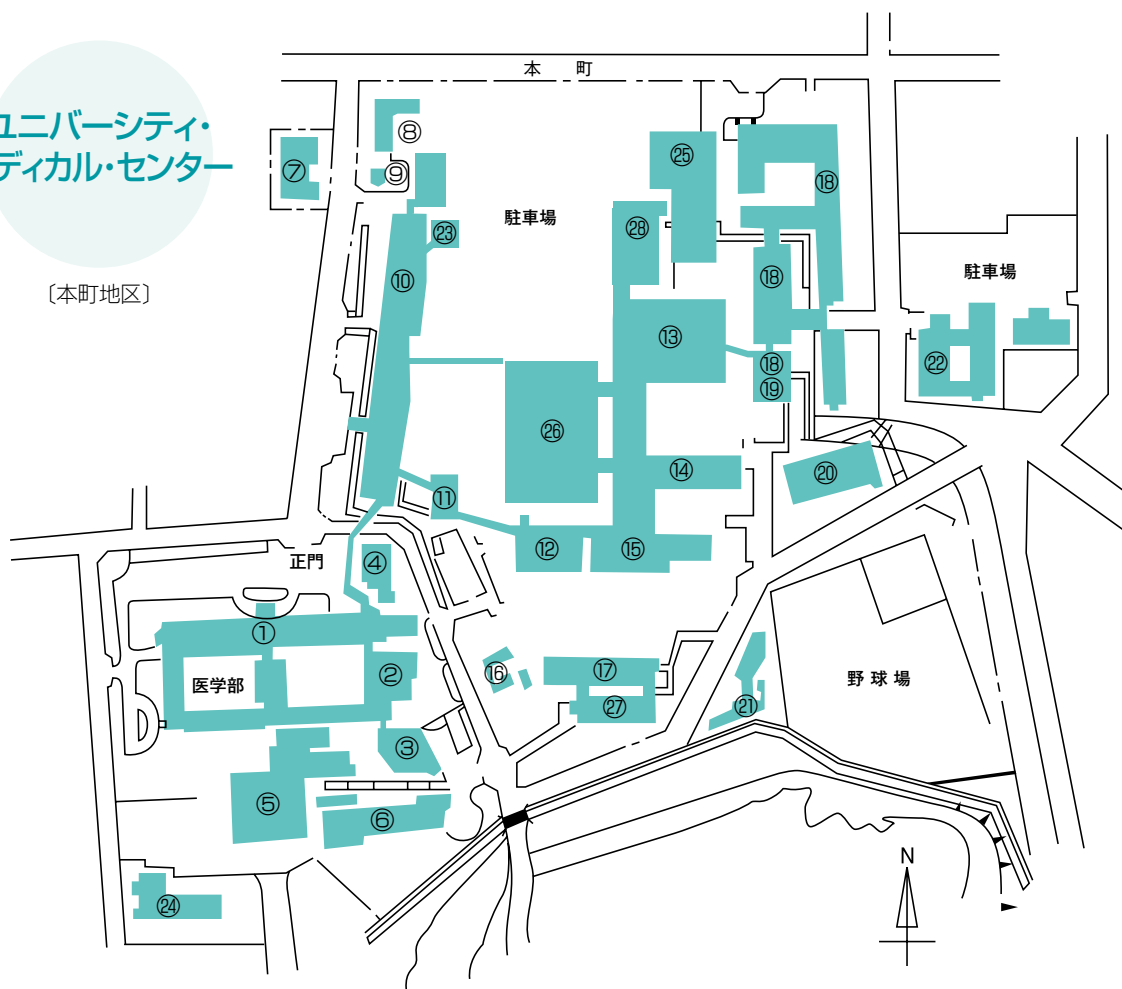


創立60周年記念モニュメント
金工作品「幸せのリング」(宮田亮平前東京藝術大学長作)
②創立60周年記念会館コラボ弘大1Fロビー内)

① 案内所(守衛所)	⑲ 弓道場
② 事務局	⑳ 附属地震火山観測所
③ 旧制弘前高等学校外国人教師館	㉑ 総合情報処理センター
④ 倉庫	㉒ 理工学部1号館
⑤ 電話交換室	㉓ 附属遺伝子実験施設
⑥ 自動車車庫	㉔ コラボレーションセンター
⑦ 保健管理センター	㉕ 創立60周年記念会館コラボ弘大
⑧ 創立50周年記念会館	㉖ 理工学部2号館
⑨ 総合教育棟	㉗ 農学生命科学部校舎
⑩ 人文社会科学部校舎	㉘ 水利実験室
⑪ 附属図書館	㉙ 温室
⑫ 学生食堂	㉚ 圃場管理棟
⑬ 大学会館	㉛ 野外調査準備棟
⑭ 合宿所及びサークル共用施設	㉜ 動植物実験管理棟
⑮ 教育学部校舎	㉝ 温室・網室・ガラス室
⑮-1 資料館	㉞ 第二体育館
⑯ ポンプ室	㉟ 武道場
⑰ 危険薬品庫	㊱ 運動場器具庫
⑱ 附属教育実践総合センター	㊲ サークル棟
⑲ ボイラ室	④⑩ 北沢寮(男子・留学生混住型)
⑳ 第一体育館	④⑪ 国際交流会館
	④② 職員宿舎

ユニバーシティ・
メディカル・センター

〔本町地区〕



① 医学研究科	⑧ 自動車車庫	⑬ 旧廃液処理施設	⑳ 本町地区共同利用施設 (附属高度先進医学研究センター)
② 附属図書館医学部分館	⑨ ポンプ室	⑭ 一般管理棟	㉑ 立体駐車場
③ 基礎講義棟	⑩ 臨床研究棟	⑮ 保健学研究科	㉒ 外来診療棟
④ 課外活動用器具庫	⑪ 臨床講義棟	⑯ 被ばく医療総合研究所	㉓ ひろだい保育園
⑤ 附属動物実験施設 アイントープ総合実験室	⑫ エネルギーセンター	⑰ 体育館	㉔ 高度救命救急センター
⑥ 附属脳神経血管病態研究施設	⑬ 中央診療棟	⑱ 医学部会館	
⑦ 医学部コミュニケーションセンター	⑭ 第二病棟	㉒ 看護師宿舎	
	⑮ 第一病棟	㉓ 女性医師支援施設	



㉔ 高度救命救急センター



⑭ ⑮ 医学部附属病院第一病棟及び第二病棟



⑦ 医学部コミュニケーションセンター



㉗ ひろだい保育園

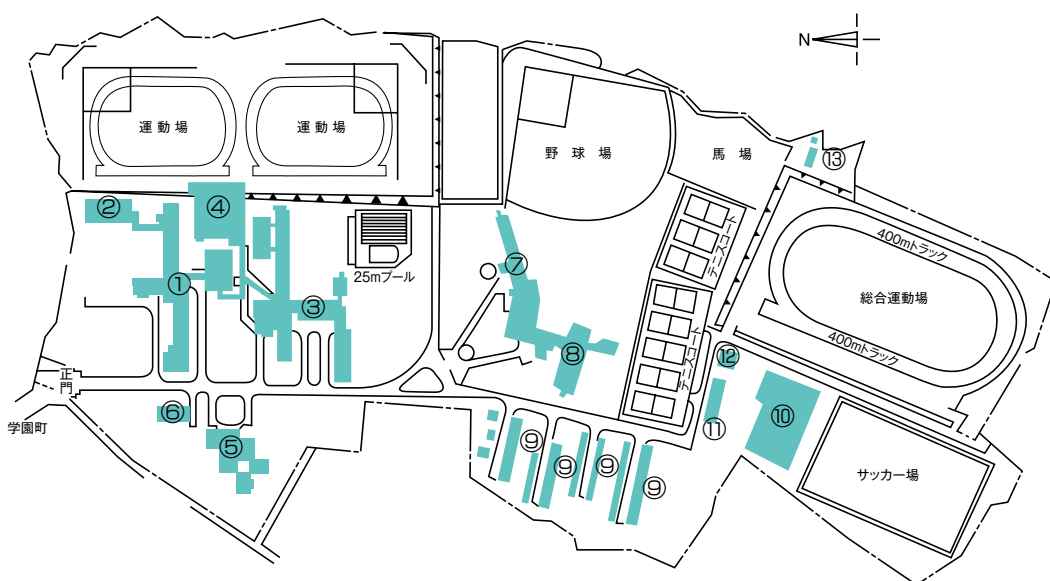
学園町地区



③ 附属小学校



① 附属中学校



富野町地区



① 附属中学校校舎	⑤ 附属幼稚園園舎	⑨ 職員宿舎	⑬ 馬房
② 附属中学校武道場	⑥ ボイラー室	⑩ 屋内プール	⑭ 附属特別支援学校校舎
③ 附属小学校校舎	⑦ 朋寮(女子)	⑪ 体育管理施設	⑮ 附属特別支援学校屋内体育館
④ 附属小・中体育館	⑧ 北鷹寮(男子)	⑫ 合宿所	



⑤ 附属幼稚園



⑭ 附属特別支援学校

農学生命科学部附属生物共生教育研究センター
藤崎農場・金木農場

藤崎農場

①	管 理 棟
②	加 工 舎
③	リンゴ低温倉庫
④	資 材 庫
⑤	温 室
⑥	油 庫
⑦	農 菜 庫
⑧	小 農 具 舎
⑨	大 農 具 舎
⑩	収 納 調 整 舎
⑪	収 納 舎
⑫	学 生 用 農 具 庫
⑬	肥 料 庫
⑭	果 樹 根 実 験 施 設
⑮	物 置
⑯	ポ ン プ 室



管理棟



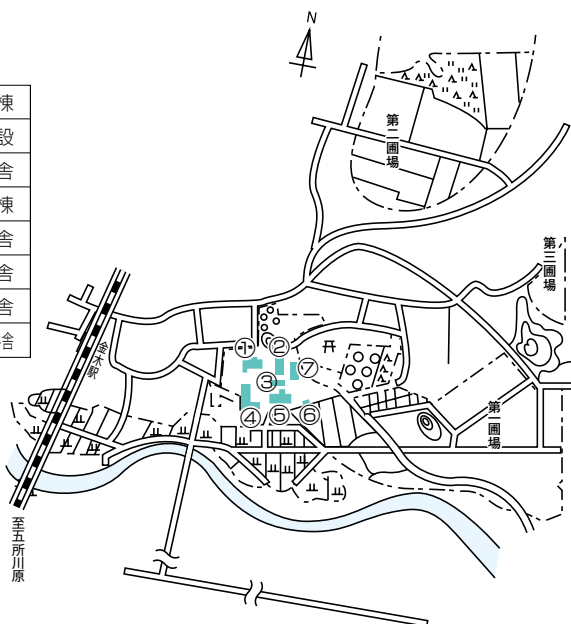
ピーターパン・チューリップ園



繁殖舎

金木農場

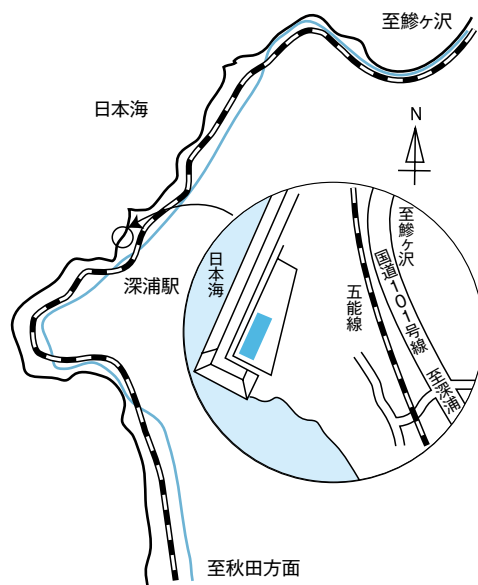
①	管 理 棟
②	宿 泊 施 設
③	多 目 的 舎
④	宿 泊 棟
⑤	農 機 具 舎
⑥	繁 殖 舎
⑦	肥 育 舎
⑧	アップルビーブ特別生産牛舎



深浦実験所



深浦実験所



体育施設

平成 28 年 5 月 1 日現在

区 分		所在地	構造・階	面積 (m ²)	備 考
屋 内 施 設	体 育 館	文 京 町	S ₁ ,R ₂	3,394	第一体育館 (S ₁ ・1,828m ²) 第二体育館 (R ₂ ,S ₁ ・1,566m ²)
	体 育 館	本 町	RS ₂	1,457	
	弓 道 場	文 京 町	W ₁	140	柔道場、剣道場、合気道場、空手道場
	武 道 場	文 京 町	R ₁	756	
	水 泳 プ ー ル	学 園 町	S ₁	2,398	
計				8,145	
屋 外 施 設	多 目 的 広 場	文 京 町		12,144	サッカー、ラグビー、アメフト、ソフトボール等の練習
	野 球 場	南 塘 町		9,981	陸上競技場(400mトラック)、サッカー・アーチェリー場、 テニスコート8面、馬房、野球場
	総 合 運 動 場	学 園 町		61,484	
	計			83,609	
合 計				91,754	

学生寮

平成 28 年 5 月 1 日現在

寮 名	構造・階	面積 (m ²)	設置年度	収 容 人 員	
				定 員	現 員
北 浜 寮 (男子・留学生 混住型)	R ₄	3,279	40	106	97
朋 寮 (女 子)	R ₅	3,498	42	234	190
北 鷹 寮 (男 子)	R ₅	2,874	43	200	90
合 計		9,651		540	377



▲学生寮 (北浜寮)



▲国際交流会館

国際交流会館

平成 28 年 5 月 1 日現在

区 分	構造・階	面積 (m ²)	施設の概要
A 棟	R ₄	982	单身室：31 共用部分：事務室、ラウンジ、ランドリー室
B 棟	R ₃	1,048	夫婦室：11 家族室：7
合 計		2,030	

サテライト

弘前大学では、産学官の研究協力、生涯学習、広報活動、その他教育研究に関する事業を行い、弘前大学と地域社会の密接な連携を図ることを目的としてサテライトを設置しています。

主な事業内容は次のとおりです。①産学官連携事業（科学技術相談、共同研究等）、②地域企業等のニーズと弘前大学のシーズのマッチング、③公開講座、講演会、遠隔教育等の実施、④広報活動（入学試験、就職に関する情報提供及び大学紹介資料の閲覧・配布等）



地方自治体等との地域連携協定

弘前大学では、社会連携ポリシーを策定し、これに基づき積極的に社会との連携、地域への貢献を進めることとしており、その一環として、自治体、企業等との連携に関する協定を締結しています。

また、その他にも生涯学習事業、産学官連携による共同研究など、多様な取組を実施しています。

- 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町（平成17年10月6日）
- 東京都江戸川区、江戸川区農業経営者クラブ、江戸川花卉園芸組合（平成18年4月21日）
- 青森県弘前市（平成18年9月19日）
- 青森県（平成18年11月25日）
- 青森銀行（平成19年4月25日）
- 青森県青森市（平成19年5月7日）
- みちのく銀行（平成19年6月25日）
- サンスター株式会社（平成19年8月7日）
- （独）放射線医学総合研究所（平成20年10月2日）
- 青森県中津軽郡西目屋村（平成20年12月22日）
- （地独）青森県産業技術センター（平成21年9月28日）
- 福島県浪江町（平成23年9月29日）
- 弘前商工会議所（平成24年12月6日）
- 青森商工会議所（平成25年7月2日）
- 青森県教育委員会（平成27年2月24日）
- 青森県西津軽郡深浦町（平成27年5月15日）
- 青森県南津軽郡藤崎町（平成27年6月12日）
- 青森県むつ市（平成27年7月7日）



青森県西津軽郡深浦町（平成27年5月15日）

部局等位置図(弘前市)



①	事務局	②	理工学研究科	⑤	北溟寮(男子・留学生混住型)							
	人文社会科学部		附属地震火山観測所		⑥	国際交流会館						
	教育学部		附属学生生命科学部			⑦	文京荘					
	附属教育実践総合センター		② 附属遺伝子実験施設				⑧	医学研究科				
	保健管理センター		総合情報処理センター					附属動物実験施設				
	教員免許状更新講習支援室		機器分析センター					⑨	附属脳神経血管病態研究施設			
	出版会		③ 附属特別支援学校						アイソトープ総合実験室			
	資料館		附属小学校						⑩	医学部コミュニケーションセンター		
	① 国際教育センター		附属中学校							⑪	附属病院	
	ボランティアセンター		④ 附属幼稚園								保健学研究科	
	国際連携本部		北鷹寮(男子)								⑫	被ばく医療総合研究所
	附属図書館		朋寮(女子)									
総合教育棟												
創立50周年記念会館												
旧制弘前高等学校外国人教師館												
男女共同参画推進室												
生涯学習教育研究センター												



2016



HIROSAKI UNIVERSITY

弘前大学ロゴマーク 制定日／平成18年7月24日

コンセプト

弘前市が全国に誇れる「桜」をモチーフにし、5学部の桜の花が集結し、未来に向けひとつ大きな花を開花させるというイメージを図案化。中央にある丸は地球をイメージしており、弘前大学の卒業生がビジネス&研究において優秀な人材として貢献し、世界を飛びまわるという工夫を加えた表現にもしております。また、それぞれのカラーは、5学部のカラーを表現しており、(赤)医学部、(橙)教育学部、(緑)農学生命科学部、(紺)理工学部、(紫)人文社会科学部としています。さらに、地球の周りに桜を散りばめているようなイメージは、人工衛星的なイメージにも見え「地域発信の拠点となる弘前大学」という意味もあります。全体の色味としても現代風のカラフルな色彩にしており、フレッシュ感と躍動感、そして楽しいキャンパスライフという活気に満ちあふれたマークに仕上がっています。

編集・発行 弘前大学総務部広報・国際課
郵便番号 036-8560 弘前市文京町1番地

URL <http://www.hirosaki-u.ac.jp/>